

目次

1. 津波堆積物調査（現地調査）
2. 日本海東縁部に設定された地方自治体による波源モデル
3. 2011年東北地方太平洋沖地震を始めとするM9クラスの超巨大地震から得られた知見
 - 3-1. 2011年東北地方太平洋沖地震から得られた知見
 - 3-2. 世界のM9クラスの超巨大地震から得られた知見の整理
 - 3-3. まとめ
4. 三陸沖から根室沖のプレート間地震に伴う津波
 - 4-1. 2011年東北地方太平洋沖地震による津波等の再現性確認
 - 4-2. 分岐断層に関する検討
 - 4-3. ライズタイムの影響検討
5. チリ沖に想定される地震に伴う津波の影響検討
6. 陸上の斜面崩壊に起因する津波
 - 6-1. 地すべり地形分布図
 - 6-2. 二層流モデルの適用性について
7. 海底地すべりに起因する津波
 - 7-1. 急傾斜部を対象とした地形判読
 - 7-2. 海底地すべり海上音波探査記録
 - 7-3. 海底地すべり地形崩壊量算定
 - 7-4. ハワイ付近の海底地すべりの影響について
8. 火山現象に起因する津波
 - 8-1. kinematic landslideモデルによる追加検討
9. 津波発生要因の組合せに関する検討
 - 9-1. 組合せ対象地すべりエリアの選定
 - 9-2. 線形足し合せ評価位置の検討
10. 津軽海峡・発電所専用港湾及び津波の周期特性
 - 10-1. 検討方法
 - 10-2. 日本海側からの津波に対する検討
 - 10-3. 太平洋側からの津波に対する検討
 - 10-4. まとめ
11. 津波の伝播特性について

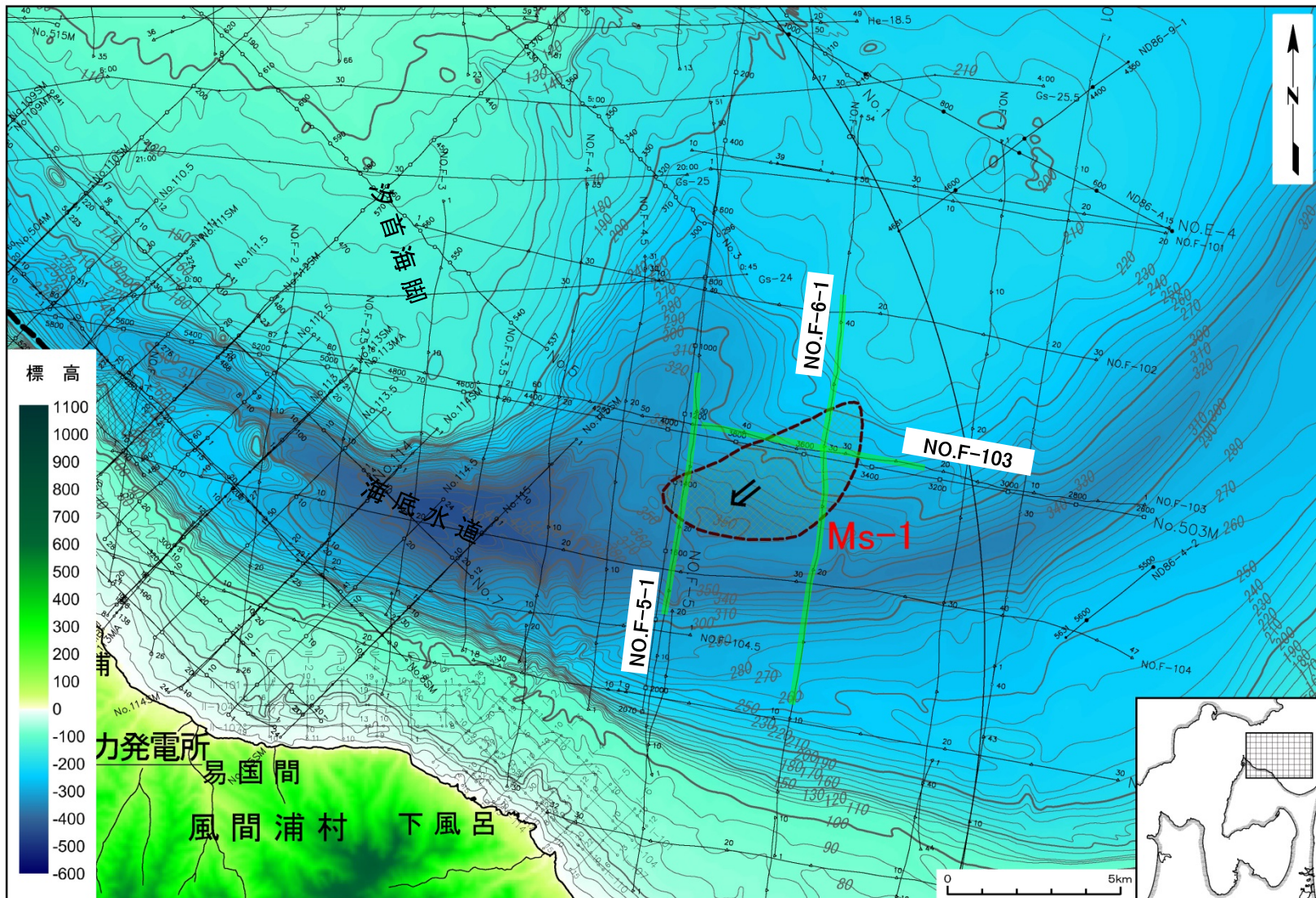




海底地すべりの可能性のある地形を横断する海上音波探査記録を整理した。



海底地すべり Ms-1



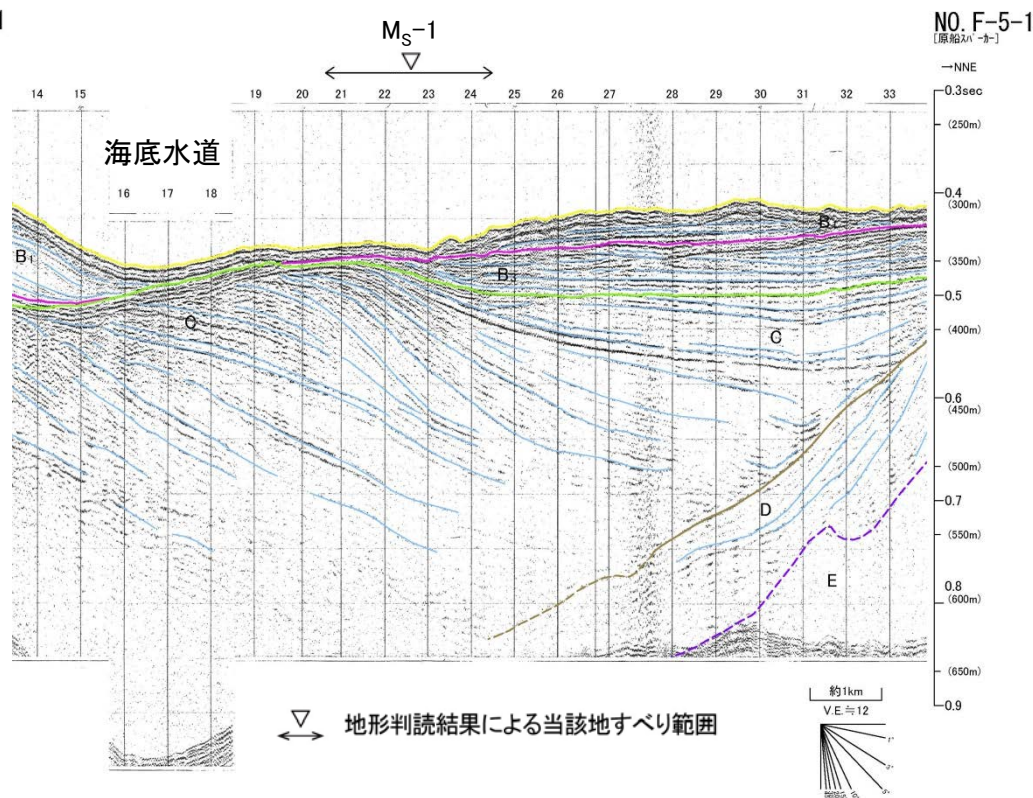
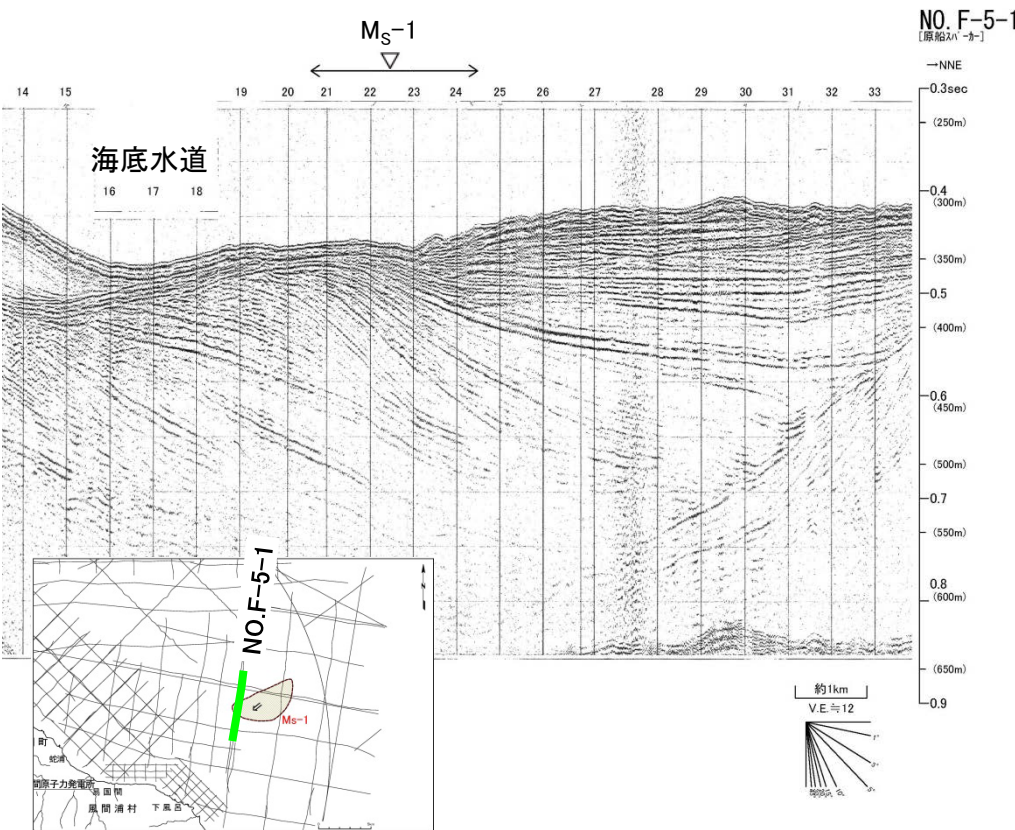
音波探査記録
の添付範囲

力発電所
易国間
風間浦村 下風呂



海底地すべり Ms-1

NO.F-5-1測線(反射断面図・解釈断面図)



- 当該範囲は、北海道側の大陸棚沖合いの斜面下部に位置し、その海底面は、B₁層の層理構造を切って広く浅い凹地を形成し、凹地の一部では波長の短い凹凸が認められる。
- 本構造は、海底地すべりによる削剥と考えられる。

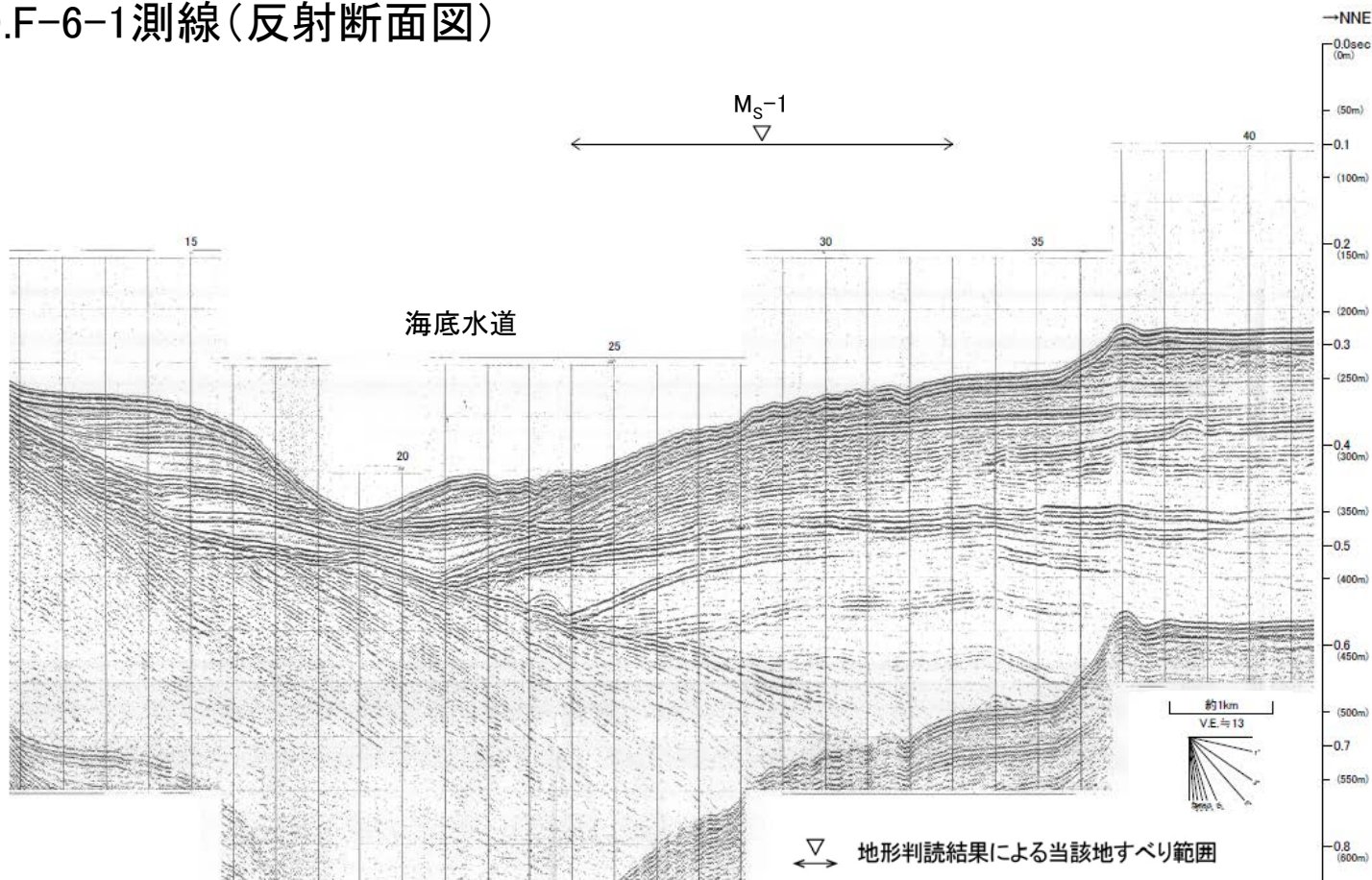
地質時代		敷地前面海域	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層
		前期	B ₃ 層
新第三紀	鮮新世	C層	
	中新世	D層	
		E層	
先新第三紀			



海底地すべり Ms-1

NO.F-6-1測線(反射断面図)

NO. F-6-1
[原船入V-カー]

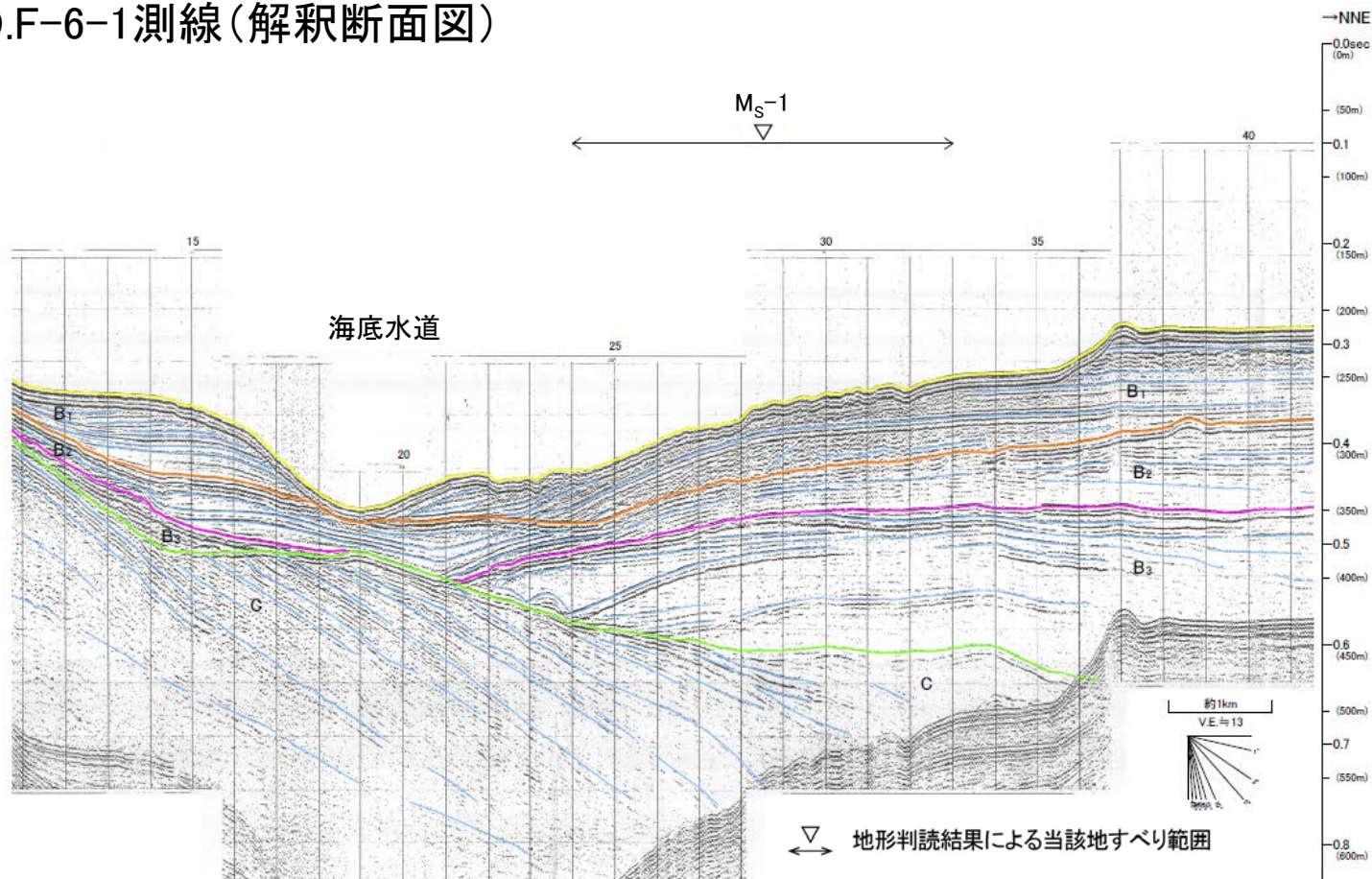




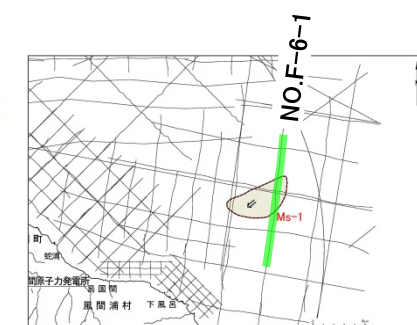
海底地すべり Ms-1

NO.F-6-1測線(解釈断面図)

NO. F-6-1
[原船みり-カ]



地質時代		敷地前浜海域
第四紀	完新世	A層
	更新世 後期	B ₁ 層
	更新世 中期	B ₂ 層
	更新世 前期	B ₃ 層
新第三紀	鮮新世	D層
	中新世	E層
先新第三紀		



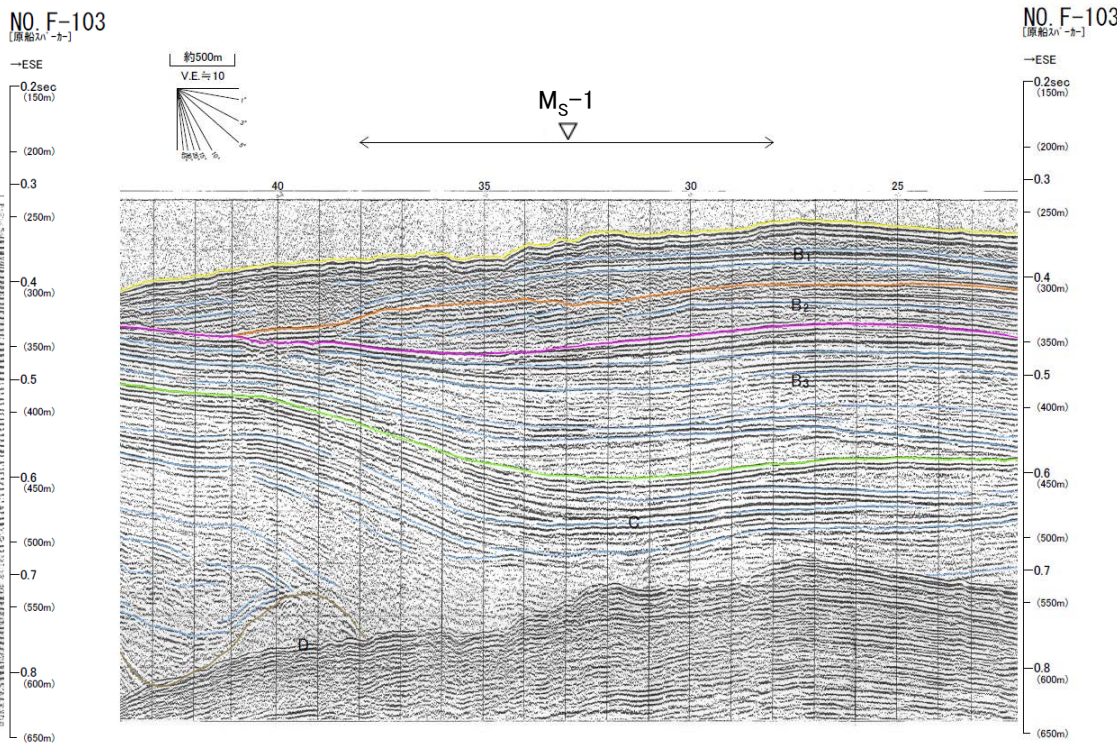
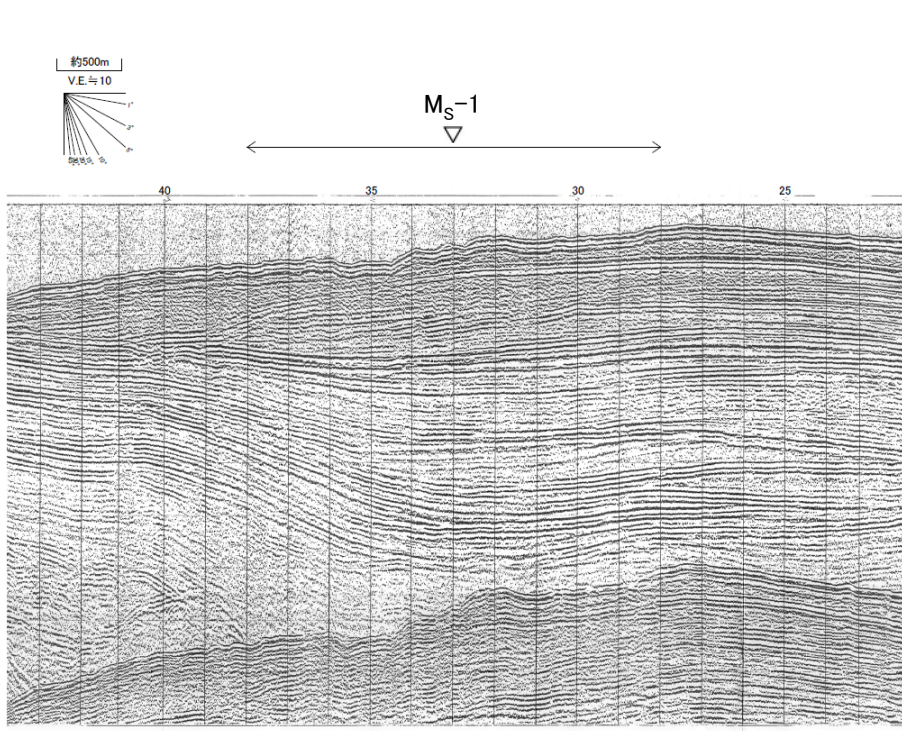
▽ 地形判読結果による当該地すべり範囲

- 該当範囲は、北海道側の大陸棚沖合いの斜面下部に位置し、その海底面は、B₁層の層理構造を切って海底水道側に傾斜した広く浅い凹地を形成し、凹地中央部では波長の短い凹凸が認められる。
- 本構造は、海底地すべりによる削剥と考えられる。

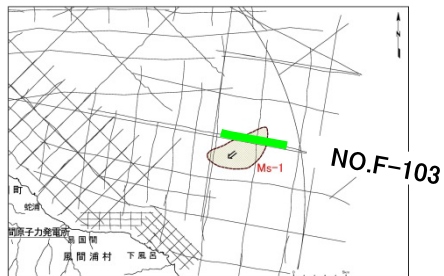


海底地すべり Ms-1

NO.F-103測線(反射断面図・解釈断面図)



▽ 地形判読結果による当該地すべり範囲

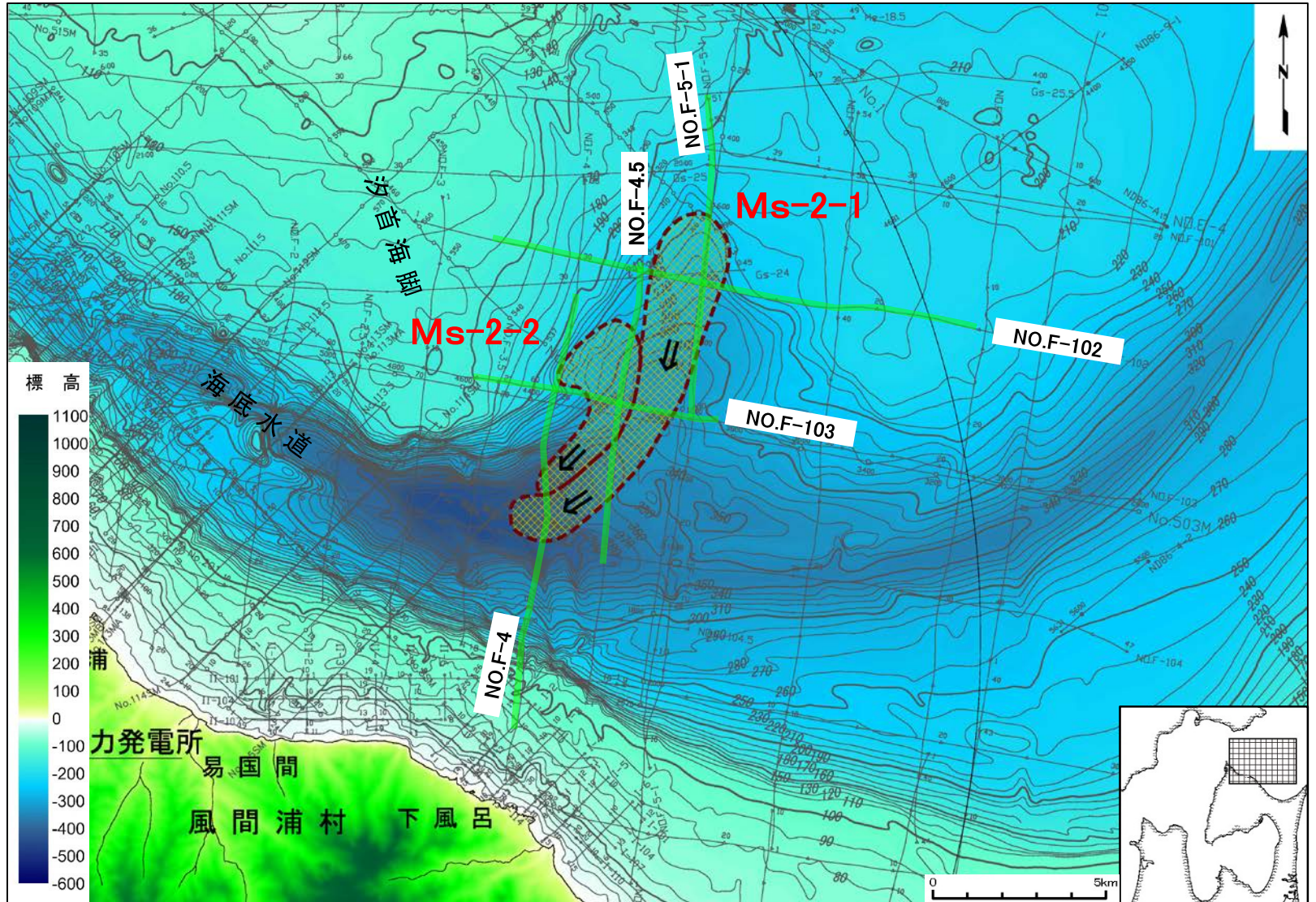


- 該当範囲は、B₁層の層理構造を切って広く浅い凹地を形成し、凹地中央部では波長の短い凹凸が認められる。
- 本構造は、海底地すべりによる削剥と考えられる。

地質時代		敷地前面海域
第四紀	完新世	A層
	更新世	後期 B層
		中期 B ₂ 層
	前期 B ₃ 層	
第三紀	鮮新世	C層
	中新世	D層
		E層
先新第三紀		



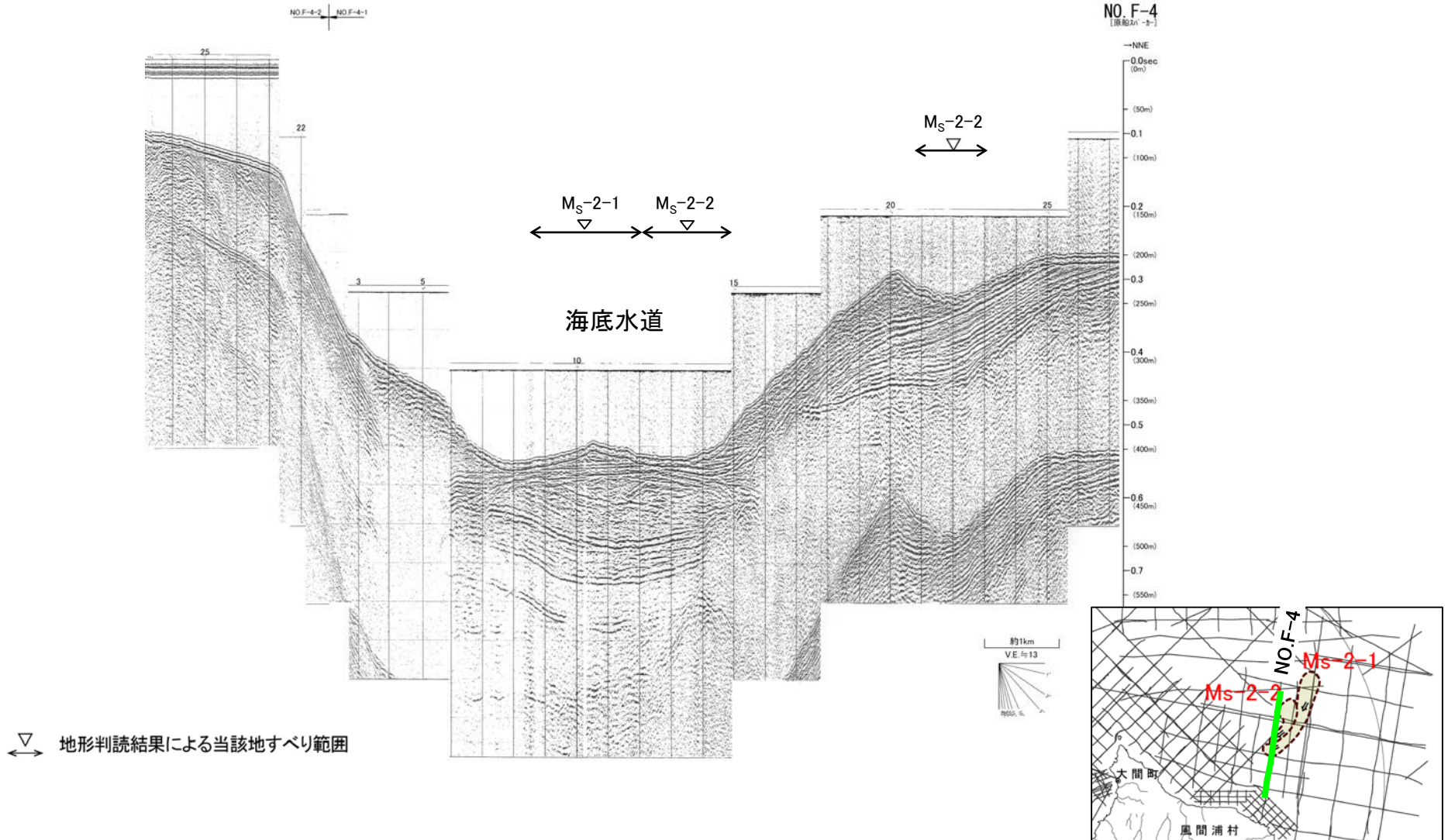
海底地すべり Ms-2





海底地すべり Ms-2

NO.F-4測線(反射断面図)

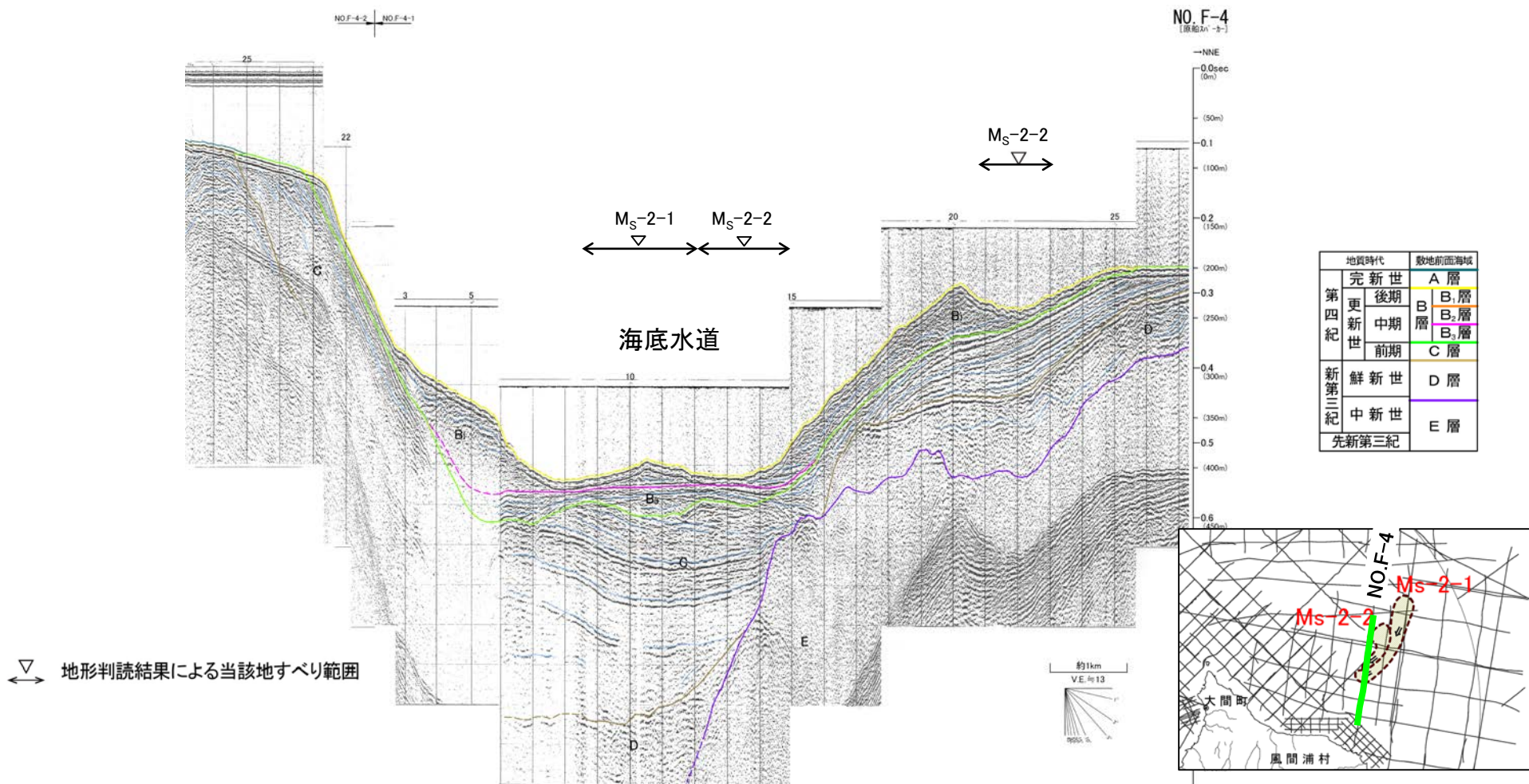


↔ 地形判読結果による当該地すべり範囲



海底地すべり Ms-2

NO.F-4測線(解釈断面図)

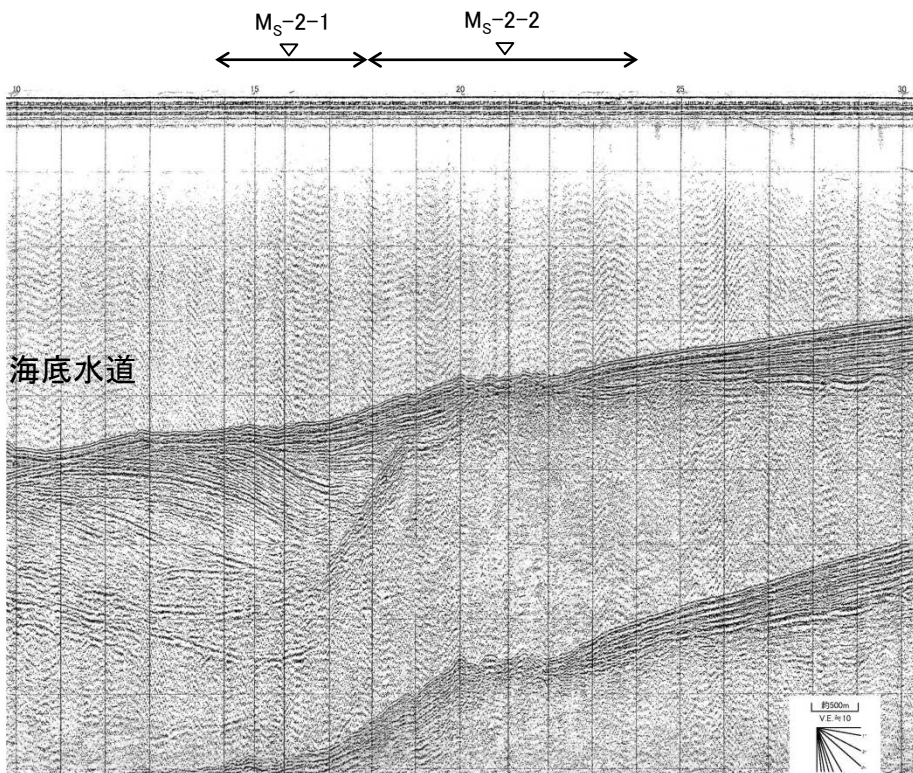


- 海底水道に位置する当該範囲では、海底水道の中央部に凸状地形が認められ、海底面下のB₁層は乱れた層理パターンを示す。
- 北海道側大陸棚沖合いの斜面上に位置する当該範囲では、海底面は最上位のB₁層を削剥し、凹地を形成している。
- 前者は地すべり移動体、後者は地すべりにより削剥されたものと考えられる。

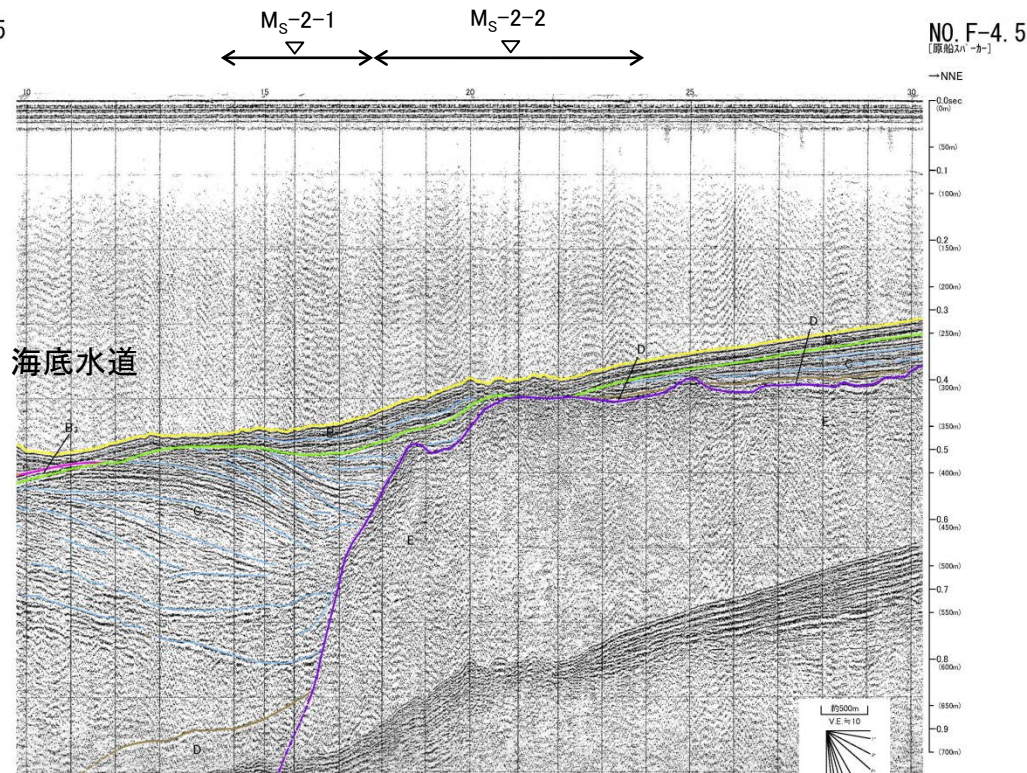


海底地すべり Ms-2

NO.F-4.5測線(反射断面図・解釈断面図)



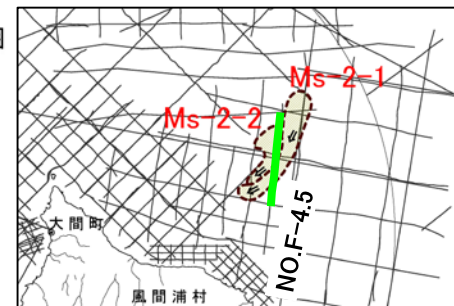
NO.F-4.5
[原船ハ-カ]



NO.F-4.5
[原船ハ-カ]

▽↔ 地形判読結果による当該地すべり範囲

- 当該範囲は、北海道側の大陸棚沖合いの斜面下部～中部に位置し、その海底面は、波長の短い凹凸が認められ、海底水道側は浅い凹地が形成されている。
- 本構造は、海底地すべりによる削剥及び地すべり移動体によるものと考えられる。

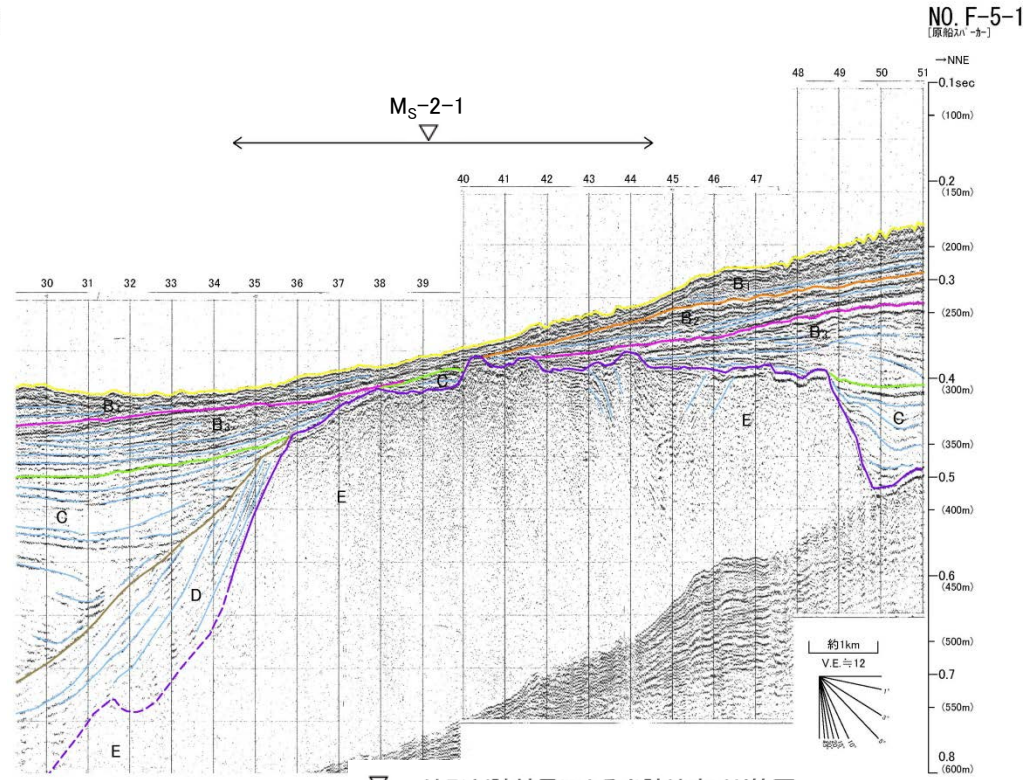
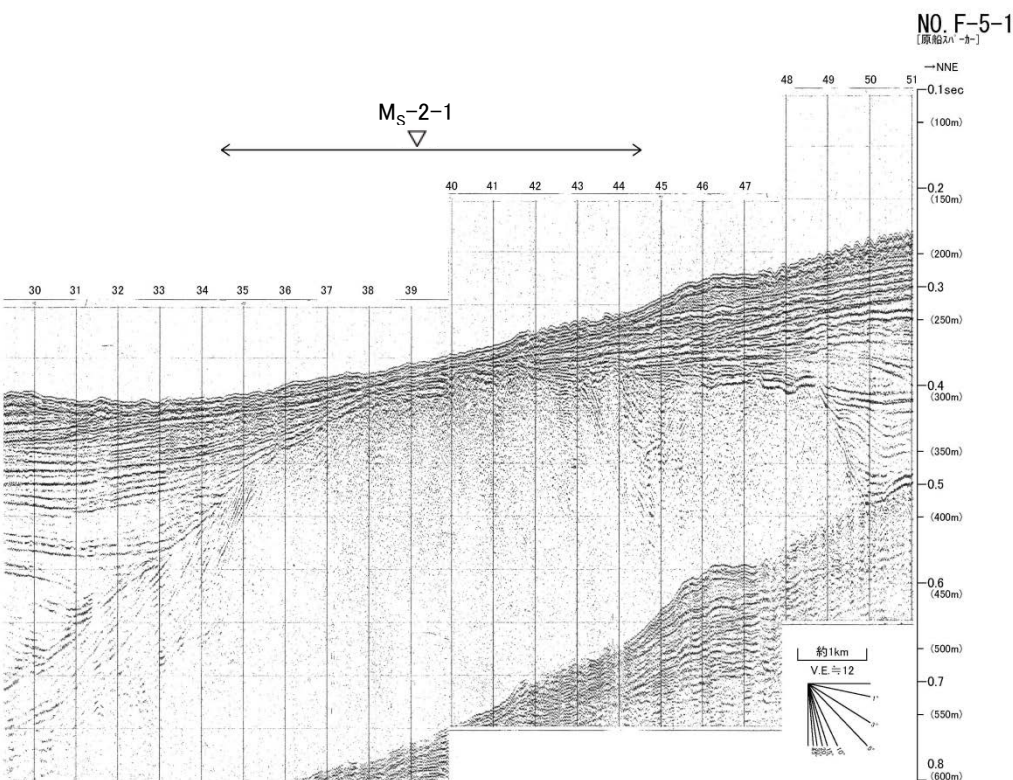


地質時代	数地前面海域
第四紀	完新世 A層
	後期 B ₁ 層
	中期 B ₂ 層
	前期 B ₃ 層
第三紀	C層
	D層
先新第三紀	E層



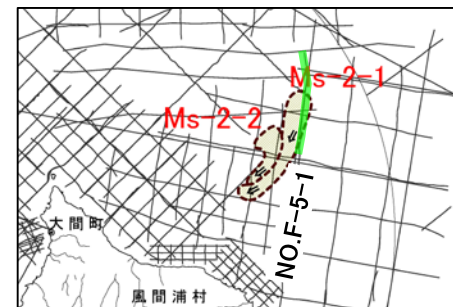
海底地すべり Ms-2

NO.F-5-1測線(反射断面図・解釈断面図)



地形判読結果による当該地すべり範囲

- 当該範囲の海底面は、B₁層の層理構造を切って広く浅い凹地を形成し、凹地の一部では波長の短い凹凸が認められる。
- 本構造は、海底地すべりによる削剥と考えられる。

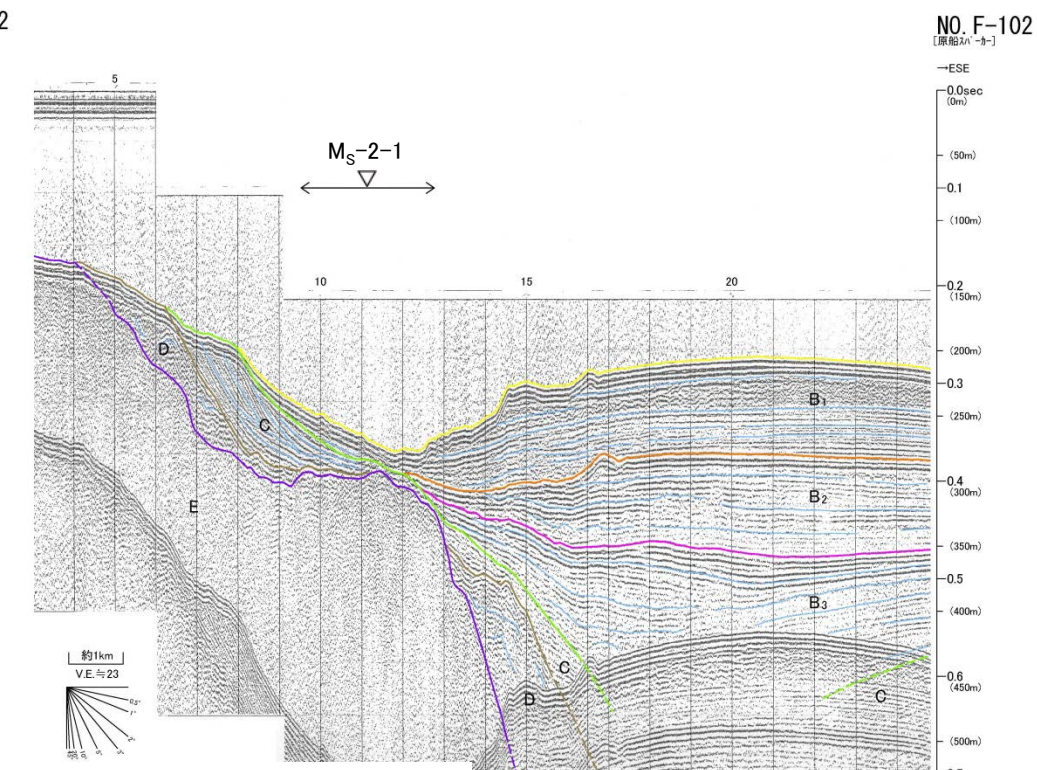
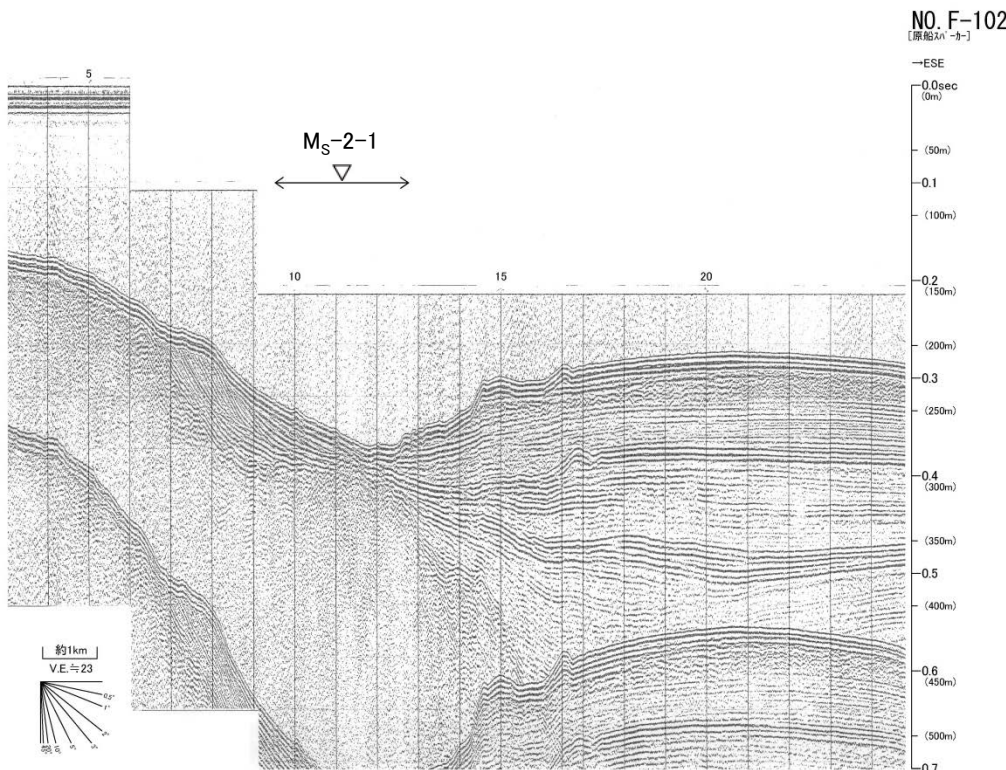


地質時代	敷地前面海域
完新世	A層
後期	B層
更新世 中期	B ₂ 層
更新世 前期	B ₁ 層
C層	
鮮新世	D層
中新世	E層
先新第三紀	



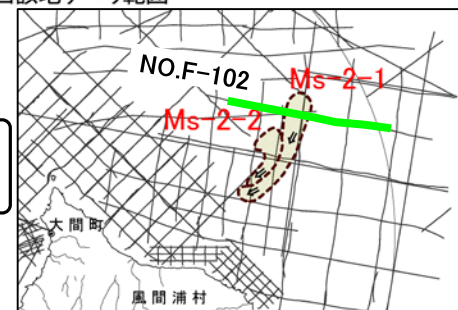
海底地すべり Ms-2

NO.F-102測線(反射断面図・解釈断面図)



地形判読結果による当該地すべり範囲

- 当該範囲の海底面は、B₁層の層理構造を切って、比較的深い凹地を形成している。
- 本構造は、海底地すべりによる削剥と考えられる。

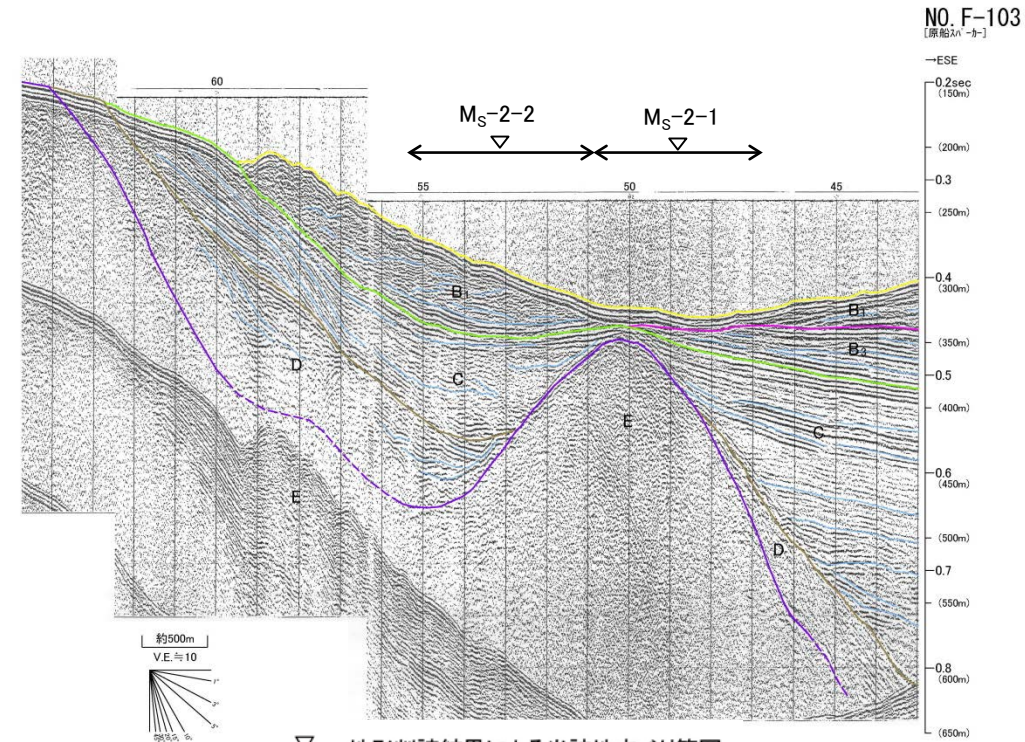
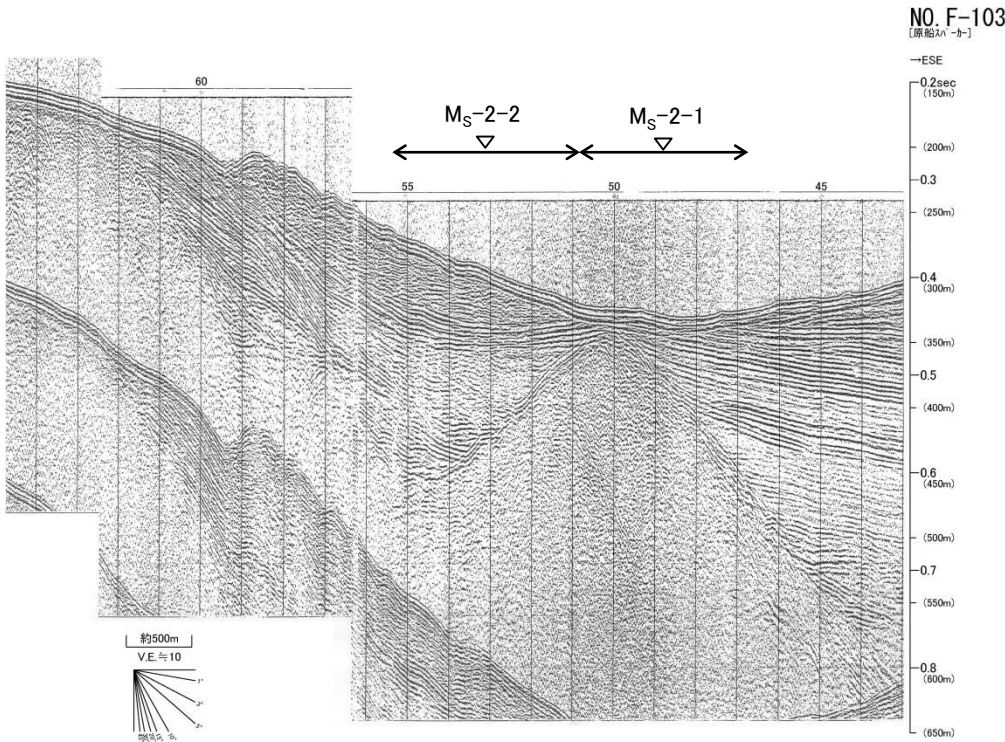


地質時代		敷地前面海域
第四紀 更新世	完新世	A層
	後期	B ₁ 層
	中期	B ₂ 層
	前期	B ₃ 層
第三紀 鮮新世		C層
	中新世	D層
先第三紀		E層

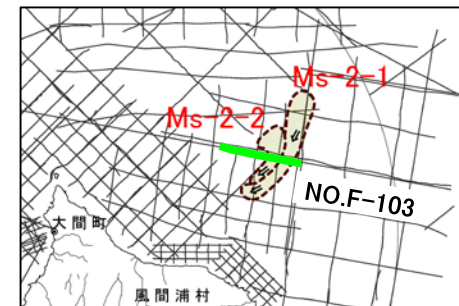


海底地すべり Ms-2

NO.F-103測線(反射断面図・解釈断面図)



▽ 地形判読結果による当該地すべり範囲

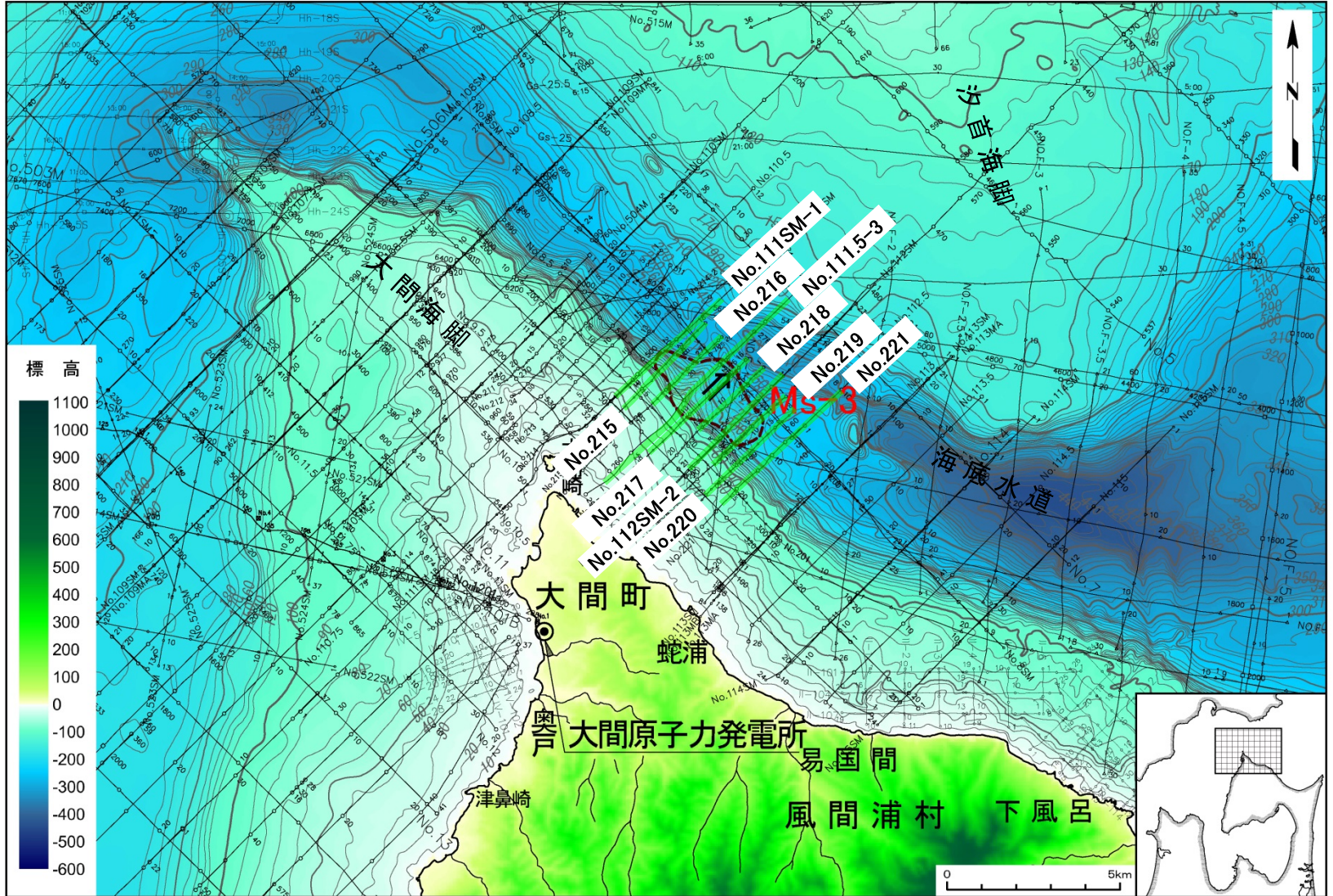


地質時代		敷地前面海層
第四紀 更新世	完新世	A層
	後期	B ₁ 層
	中期	B ₂ 層
	前期	B ₃ 層
新第三紀	鮮新世	C層
	中新世	D層
	先新第三紀	E層

- 当該範囲の海底面は、B₁層の層理構造を切って、広い凹地を形成している。
- 本構造は、海底地すべりによる削剥と考えられる。



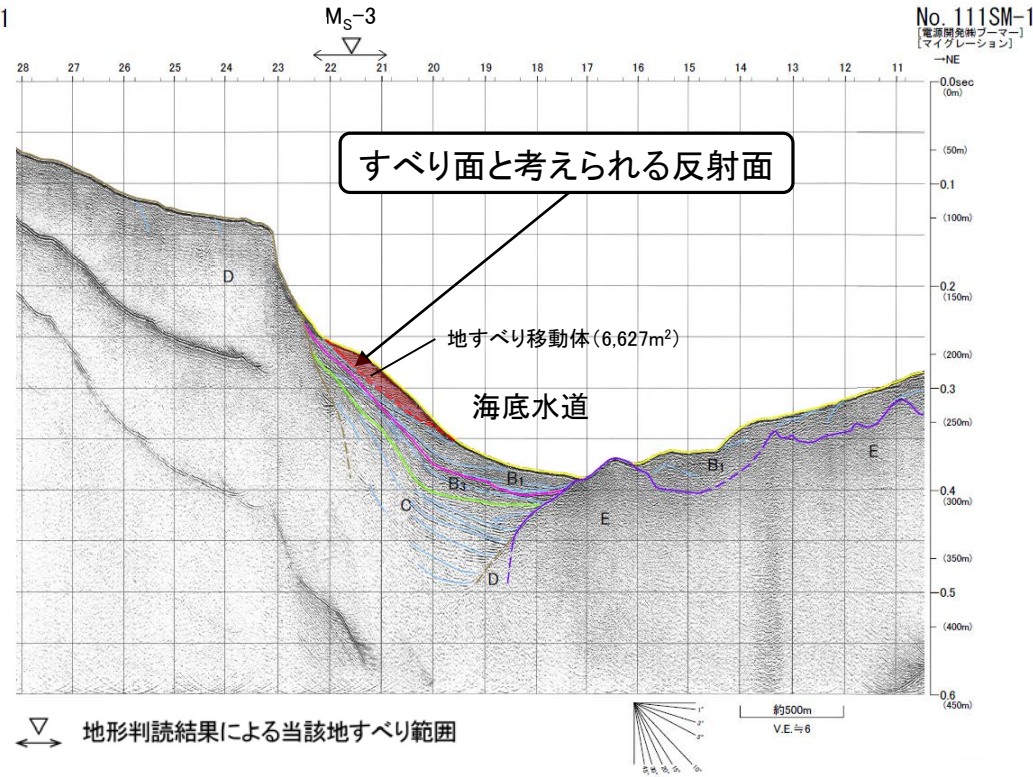
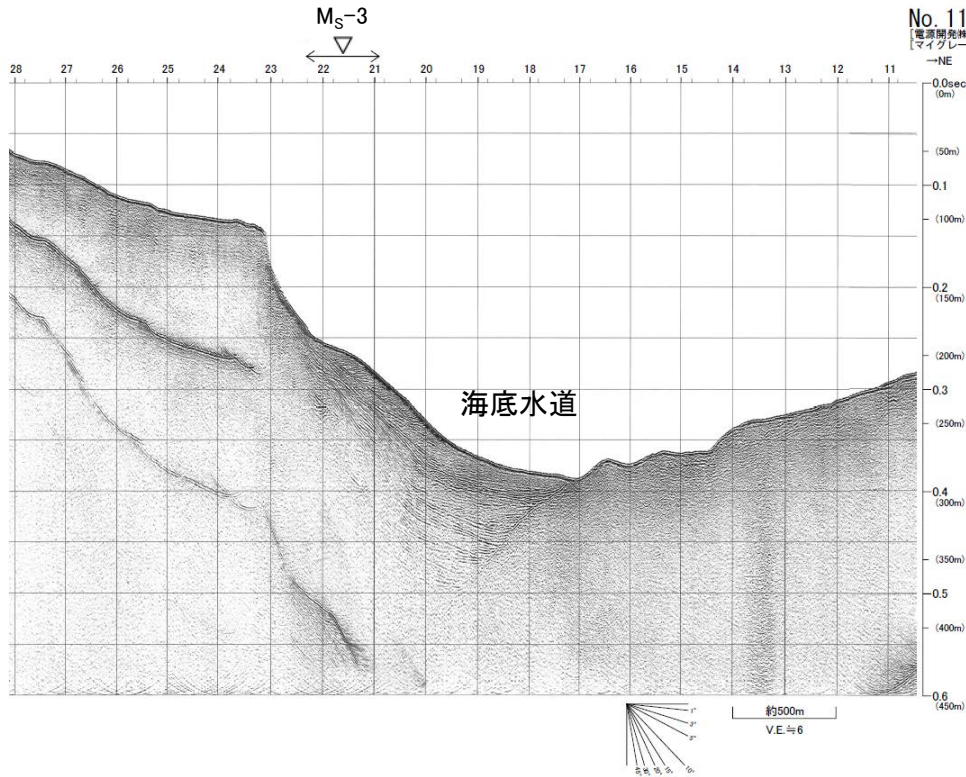
海底地すべり Ms-3



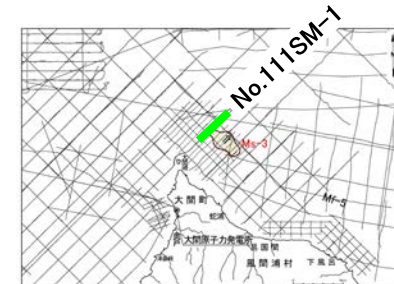


海底地すべり Ms-3

No.111SM-1測線(反射断面図・解釈断面図)



- 当該範囲は、大陸棚沖合いの斜面中部に位置し、斜面中央部付近からB₁層中に延びる反射面が認められる。
- 本反射面の上位は、やや乱れた層理パターンを示す。
- 本反射面の上位の地層は、本反射面をすべり面とした地すべり移動体と考えられる。

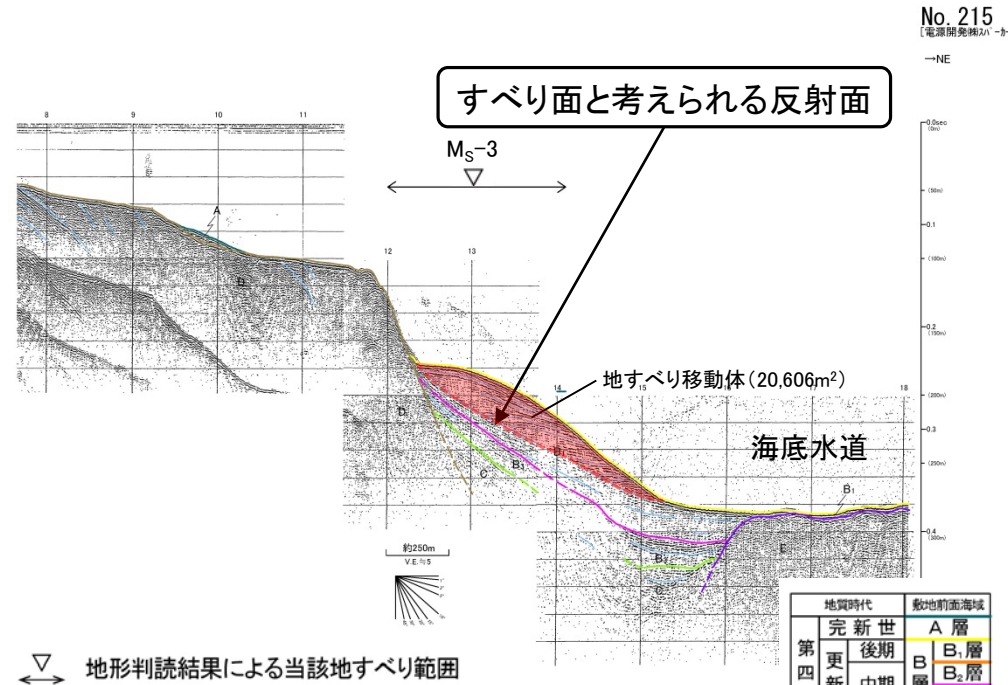
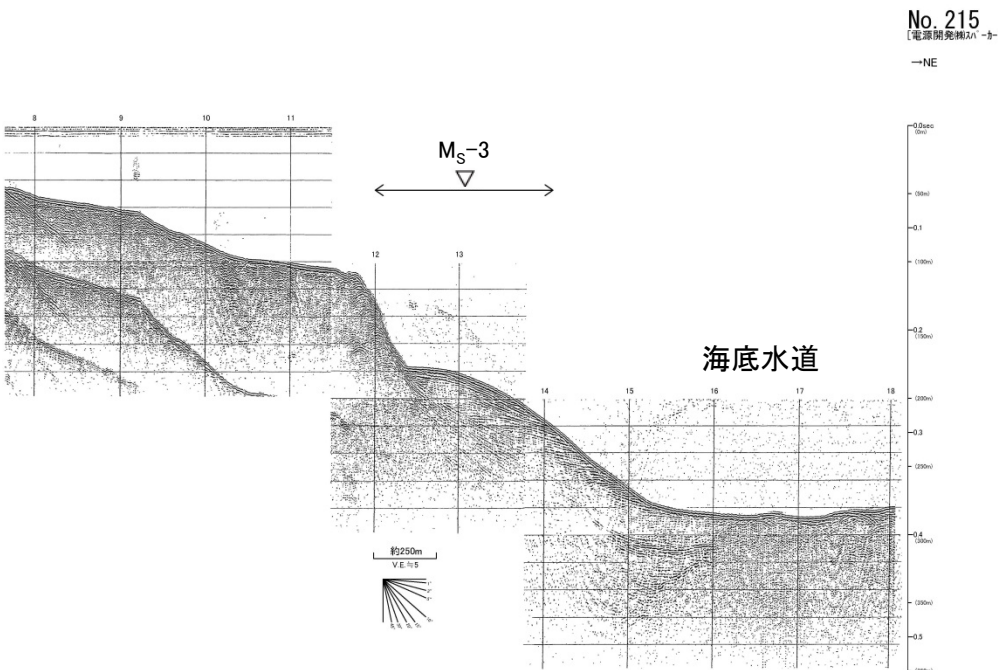


地質時代		軟地前面海域
第四紀	完新世	A層
	後期	B ₁ 層
	中期	B ₂ 層
更新世	前期	B ₃ 層
		C層
第三紀	鮮新世	D層
	中新世	E層
	先新第三紀	



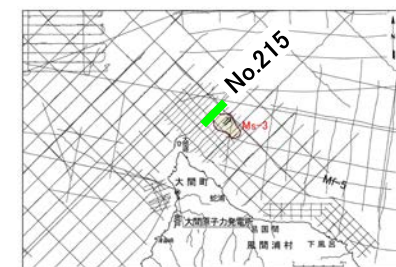
海底地すべり Ms-3

No.215測線(反射断面図・解釈断面図)



地質時代		軟地前面海域
第四紀	完新世	A層
	後期	B ₁ 層
	中期	B ₂ 層
	前期	B ₃ 層
新第三紀	鮮新世	D層
	中新世	E層
先新第三紀		

- 当該範囲は、大陸棚沖合いの斜面上部～中部に位置し 斜面上部の急斜面下端付近からB₁層中に延びる反射面が認められる。
- 本反射面の上位は、やや乱れた層理パターンまたはおおむね水平な層理パターンを示す。
- 本反射面の上位の地層は、本反射面をすべり面とした地すべり移動体と考えられる。



▽ 地形判読結果による当該地すべり範囲



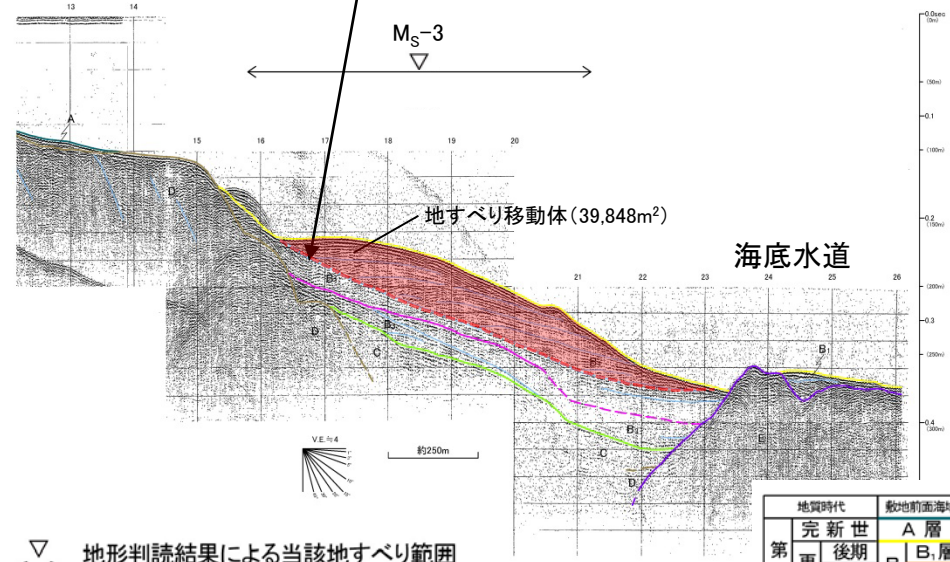
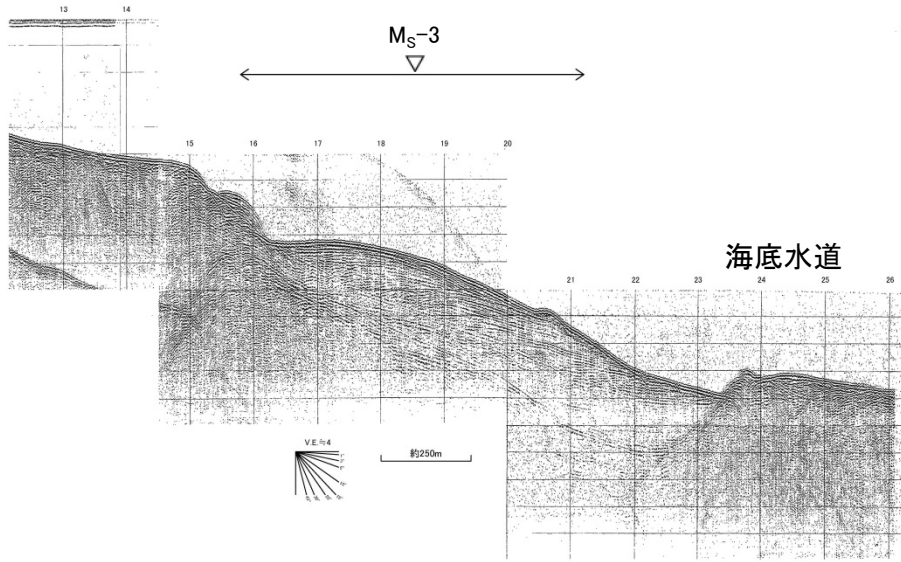
海底地すべり Ms-3

No.216測線(反射断面図・解釈断面図)

No. 216
[電源開発㈱A1-カ]
→NE

すべり面と考えられる反射面

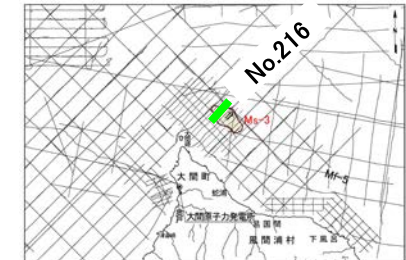
No. 216
[電源開発㈱A1-カ]
→NE



地質時代		敷地前面海域
第四紀	完新世	A層
	後期	B ₁ 層
	中期	B ₂ 層
	前期	B ₃ 層
新第三紀	鮮新世	C層
	中新世	D層
先新第三紀		E層

▽ 地形判読結果による当該地すべり範囲

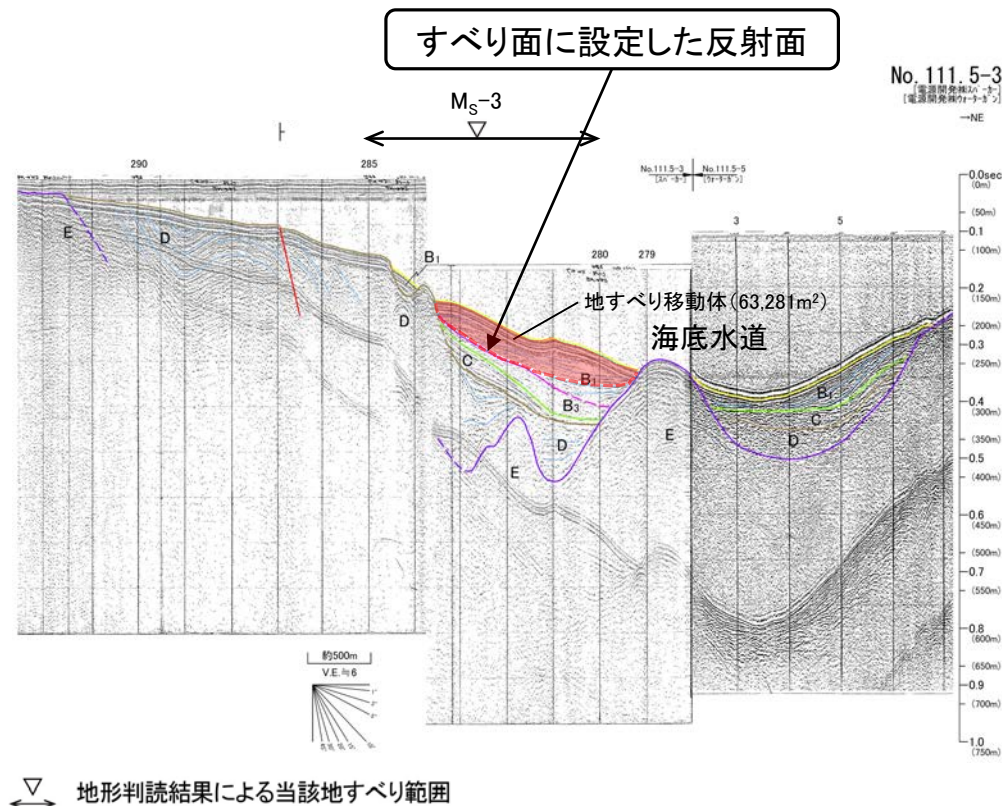
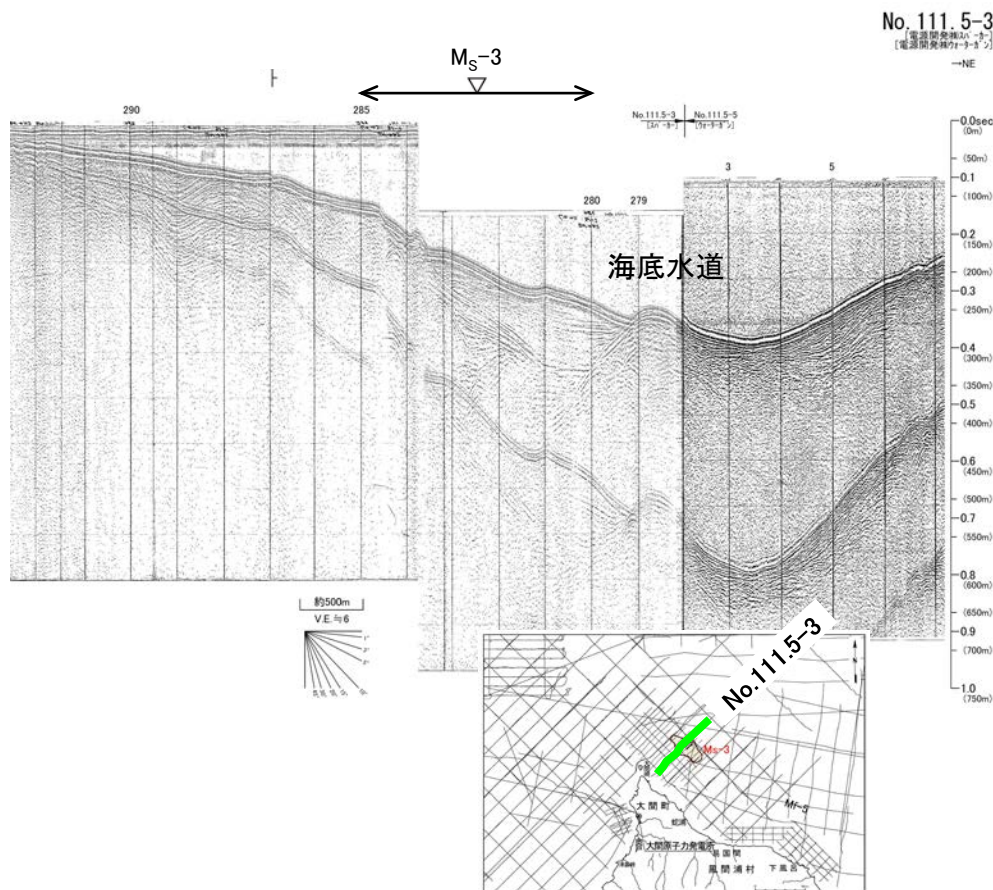
- 当該範囲は、大陸棚沖合いの斜面上部～中部に位置し、斜面上部付近からB₁層中に延びる反射面が認められる。
- 本反射面の上位は、やや乱れた層理パターンまたは緩やかな凸状の層理パターンを示す。
- 本反射面の上位の地層は、本反射面をすべり面とした地すべり移動体と考えられる。





海底地すべり Ms-3

No.111.5-3測線(反射断面図・解釈断面図)



- 当該範囲は、大陸棚沖合いの斜面上部～下部に位置する。
- 当該範囲のB₁層は、緩やかな凸状の層理パターンを示す。
- すべり面については音波探査記録の分解能の関係から不明瞭であるが、近傍測線のすべり面を参照し、安全側にB₁層下面から延びる面をすべり面に設定した。

地質時代		敷地前海域
第四紀	完新世	A層
	後期	B ₁ 層
	中期	B ₂ 層
	前期	B ₃ 層
第三紀	鮮新世	C層
新第三紀	中新世	D層
	上新世	E層
先新第三紀		

- ↔ 地形判読結果による当該地すべり範囲
- ┆ 解析結果による断層位置及び落下側
- ||| 上部更新統以上に変位(変形)が及ぶ断層

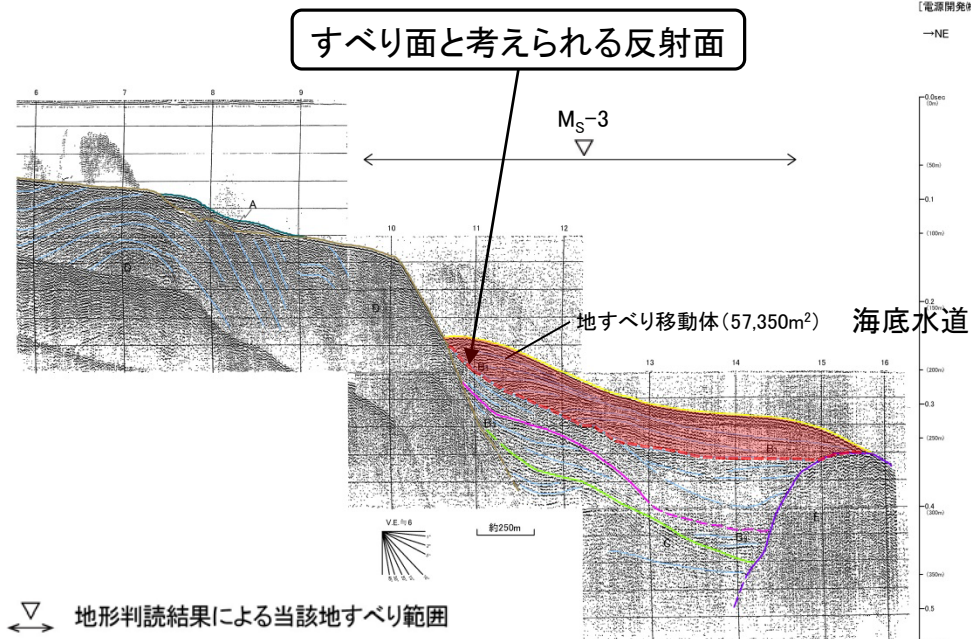
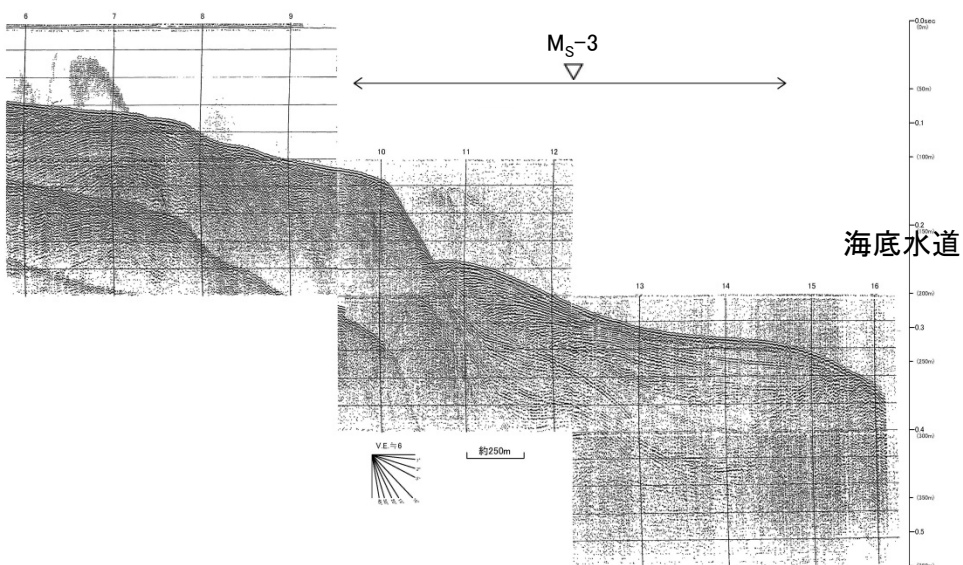


海底地すべり Ms-3

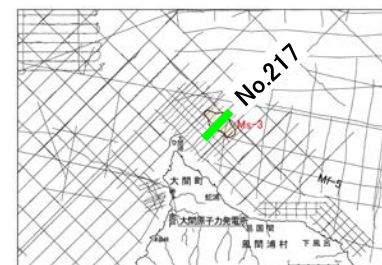
No.217測線(反射断面図・解釈断面図)

No. 217
[電源開発株式会社]
→NE

No. 217
[電源開発株式会社]
→NE



- 当該範囲は、大陸棚沖合いの斜面上部～中部に位置し、斜面上部の急斜面下端付近からB₁層中に延びる反射面が認められる。
- 本反射面の上位は、やや乱れた層理パターンまたは緩やかな凸状の層理パターンを示す。
- 本反射面の上位の地層は、本反射面をすべり面とした地すべり移動体と考えられる。



地質時代		敷地前面海域
第四紀	完新世	A層
	後期	B ₁ 層
	中期	B ₂ 層
	前期	B ₃ 層
新第三紀	鮮新世	C層
	中新世	D層
	先新第三紀	E層

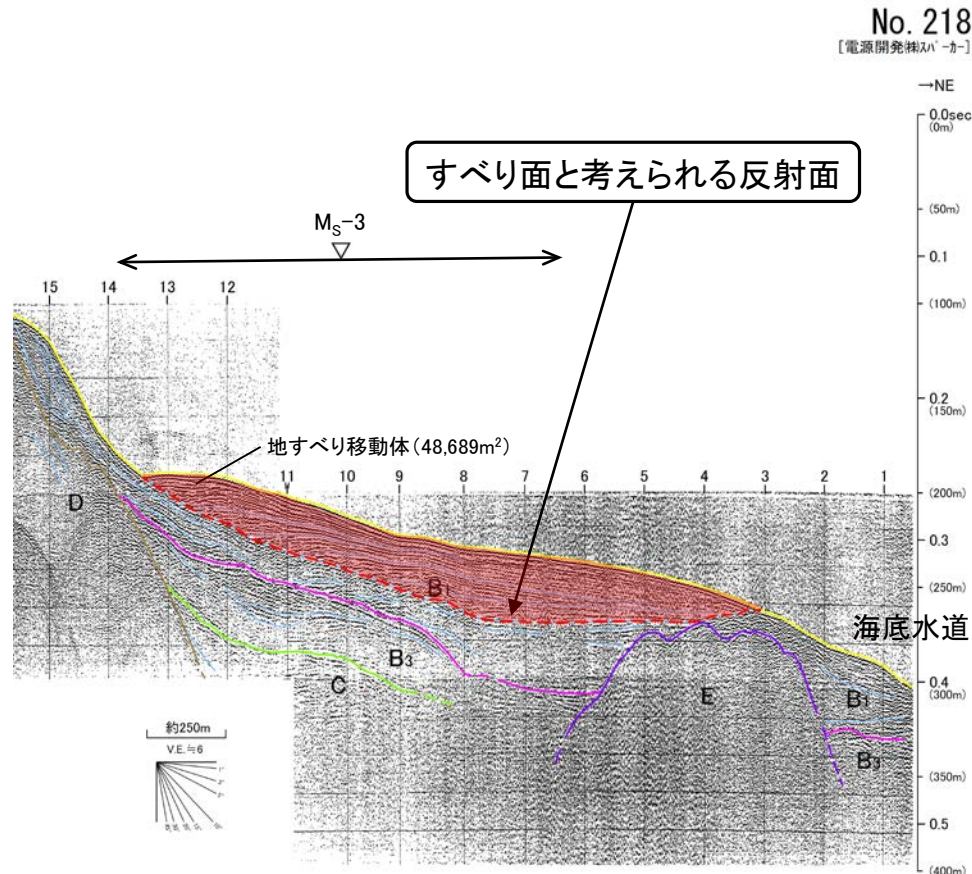
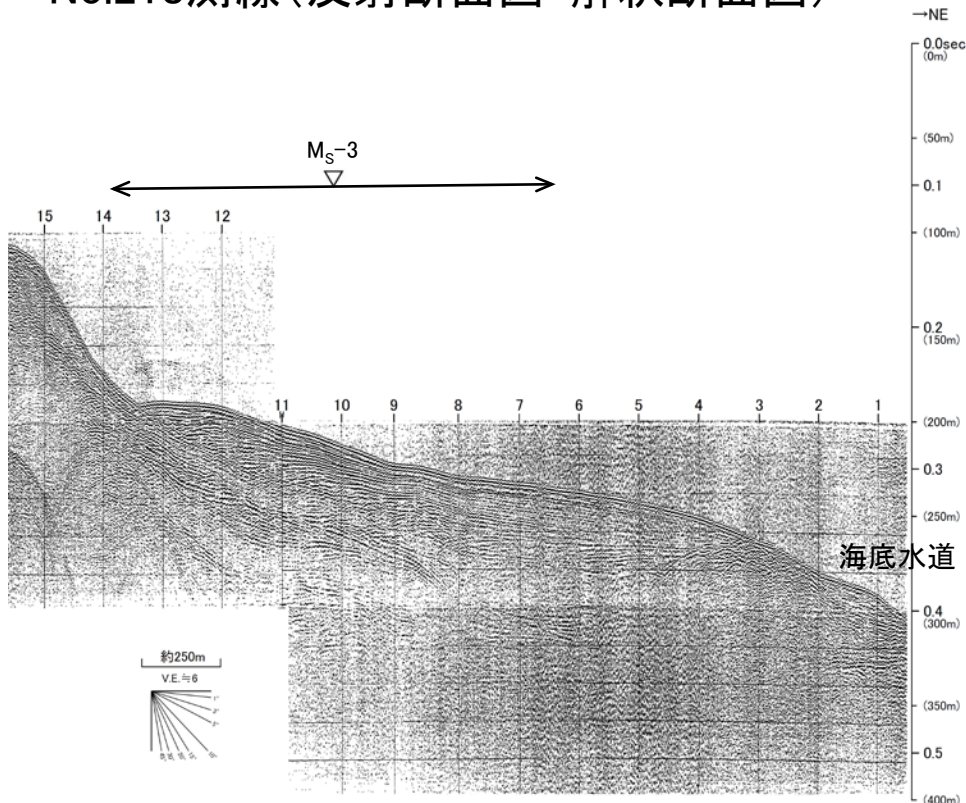


海底地すべり Ms-3

No.218測線(反射断面図・解釈断面図)

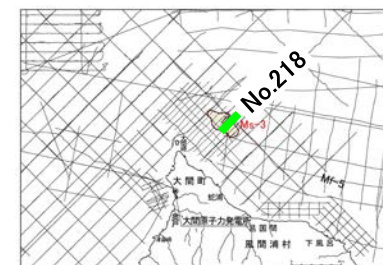
No. 218

[電源開発株式会社-カ]



▽ 地形判読結果による当該地すべり範囲

- 当該範囲は、大陸棚沖合いの斜面上部～中部に位置し、斜面上部の急斜面下端付近からB₁層中に延びる反射面が認められる。
- 本反射面の上位は、やや乱れた層理パターンまたは緩やかな凸状の層理パターンを示す。
- 本反射面の上位の地層は、本反射面をすべり面とした地すべり移動体と考えられる。

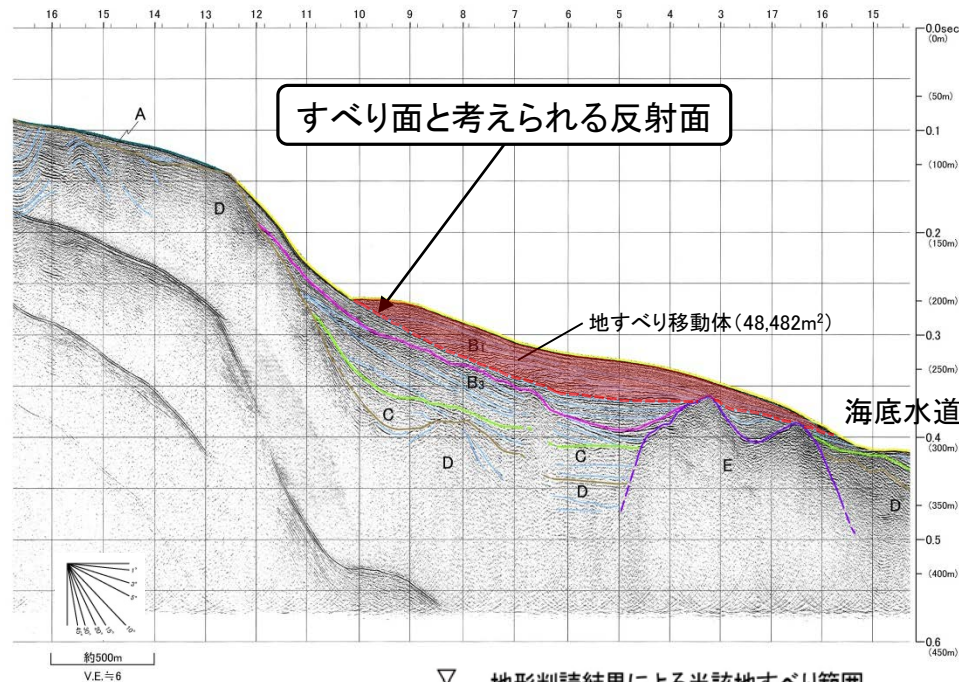
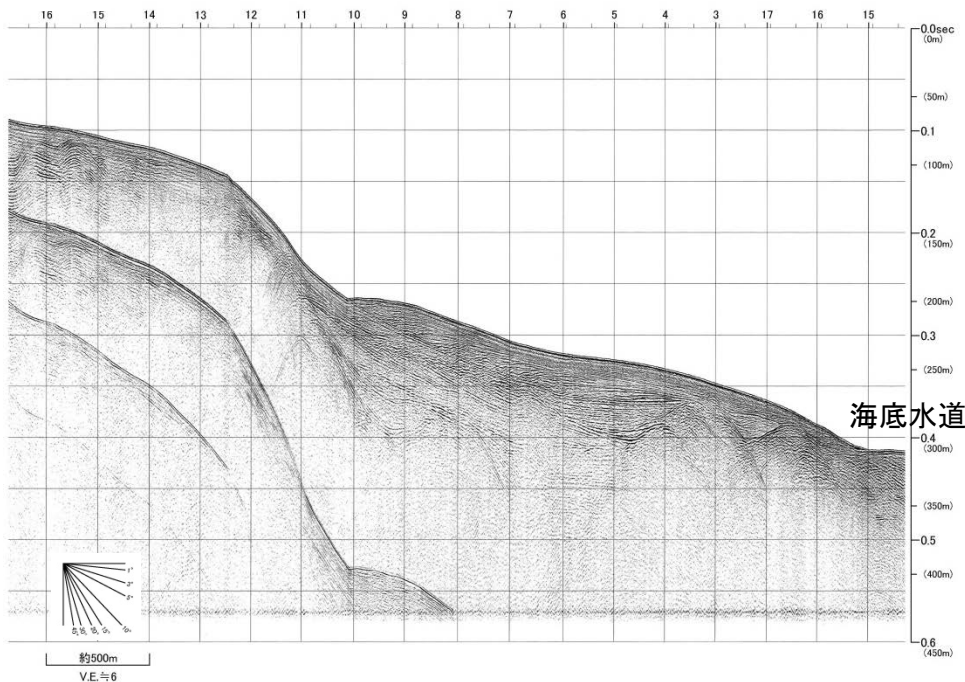


地質時代		敷地前面海域
第四紀	完新世	A層
	後期	B ₁ 層
	中期	B ₂ 層
	前期	B ₃ 層
新第三紀	鮮新世	D層
	中新世	E層
先新第三紀		



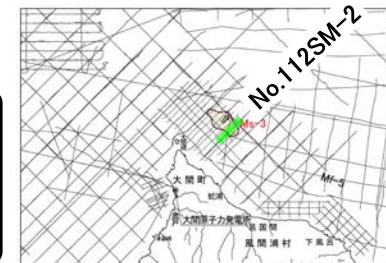
海底地すべり Ms-3

No.112SM-2測線(反射断面図・解釈断面図)



地形判読結果による当該地すべり範囲

- 当該範囲は、大陸棚沖合いの斜面中部に位置し、斜面上部の急斜面下端付近からB₁層中に延びる反射面が認められる。
- 本反射面の上位は、やや乱れた層理パターンまたは緩やかな凸状の層理パターンを示す。
- 本反射面の上位の地層は、本反射面をすべり面とした地すべり移動体と考えられる。

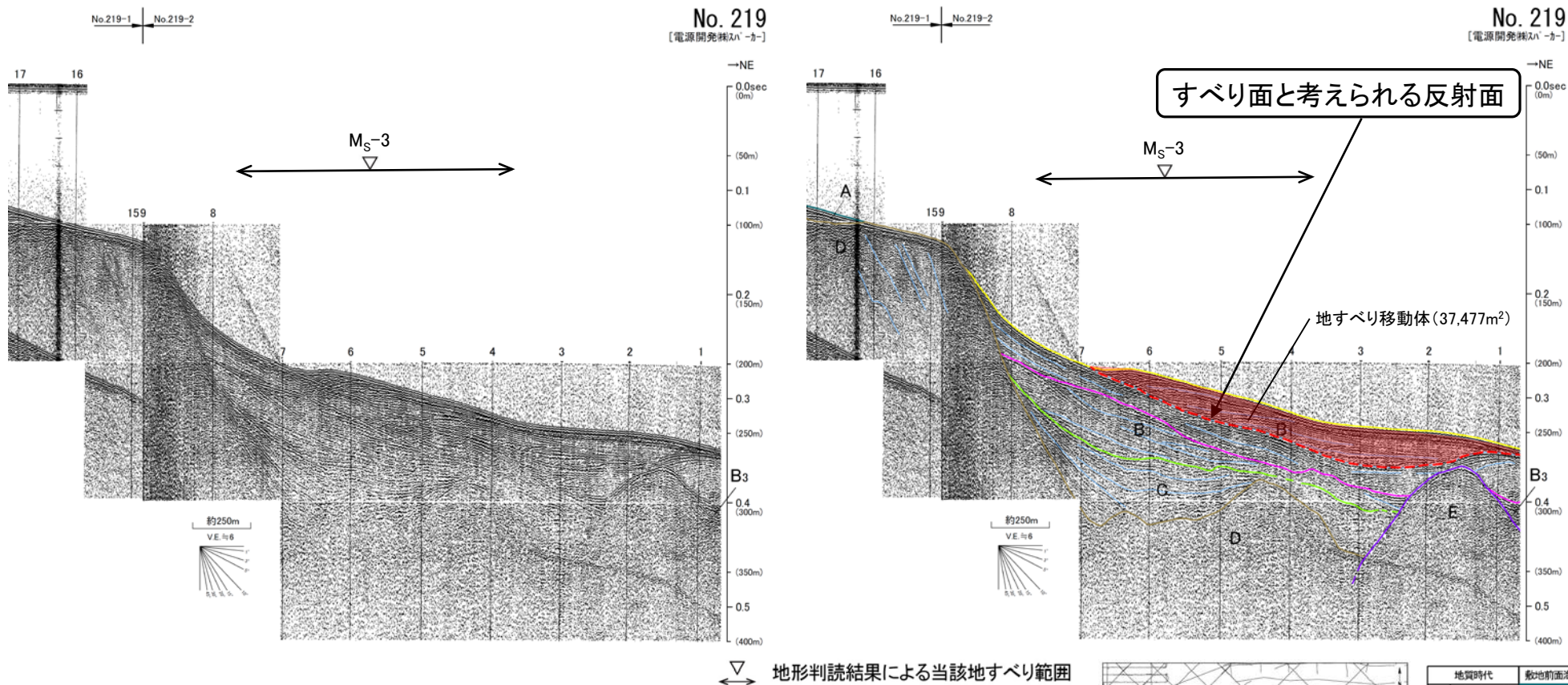


地質時代	敷地前面海域	
第四紀	完新世 後期	A層
	更新世 中期	B ₁ 層 B ₂ 層 B ₃ 層
	更新世 前期	C層
新第三紀	鮮新世	D層
	中新世	E層
先新第三紀		



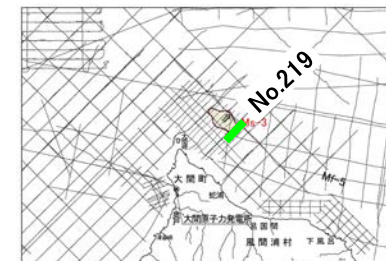
海底地すべり Ms-3

No.219測線(反射断面図・解釈断面図)



地形判読結果による当該地すべり範囲

- 当該範囲は、大陸棚沖合いの斜面中部に位置し、斜面上部の比較的急な斜面の下端付近からB₁層中に延びる反射面が認められる。
- 本反射面の上位は、やや乱れた層理パターンまたは緩やかな凸状の層理パターンを示す。
- 本反射面の上位の地層は、本反射面をすべり面とした地すべり移動体と考えられる。



地質時代		敷地面海層
第四紀	完新世	A層
	後期	B ₁ 層
	中期	B ₂ 層
更新世	前期	B ₃ 層
		C層
新第三紀	鮮新世	D層
	中新世	E層
先新第三紀		

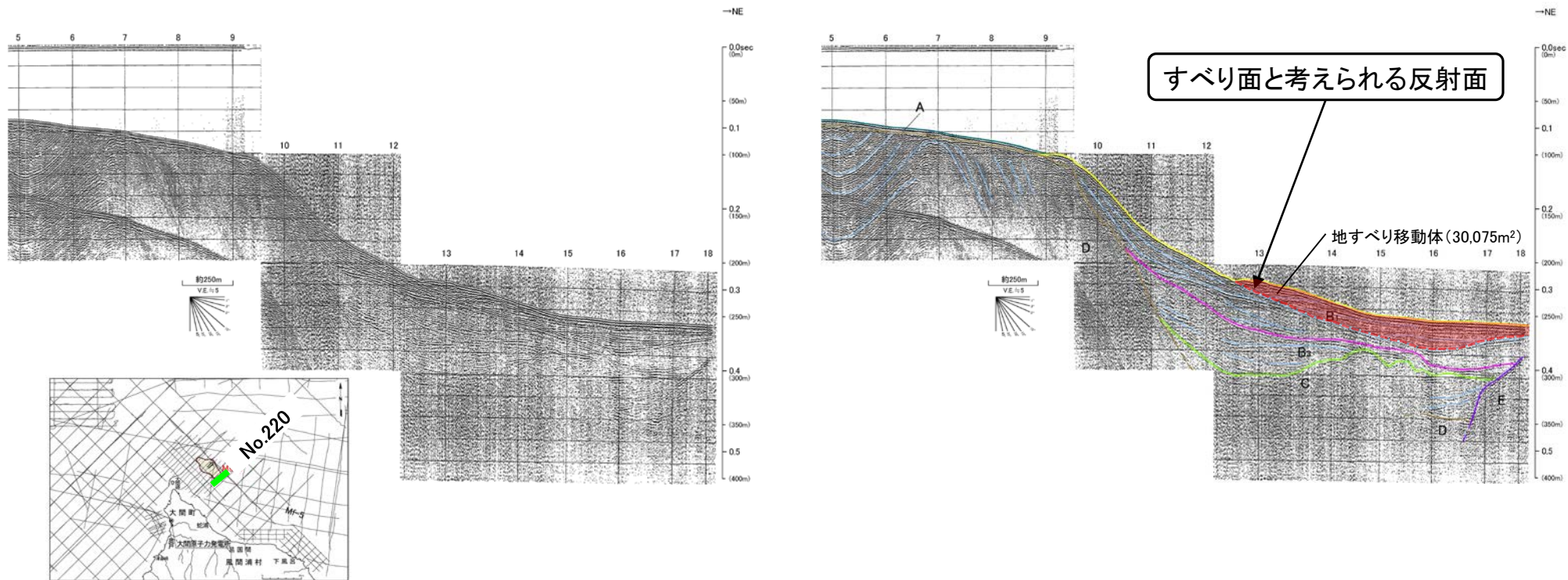


海底地すべり Ms-3

No.220測線(反射断面図・解釈断面図)

No. 220
[電源開発株式会社]

No. 220
[電源開発株式会社]



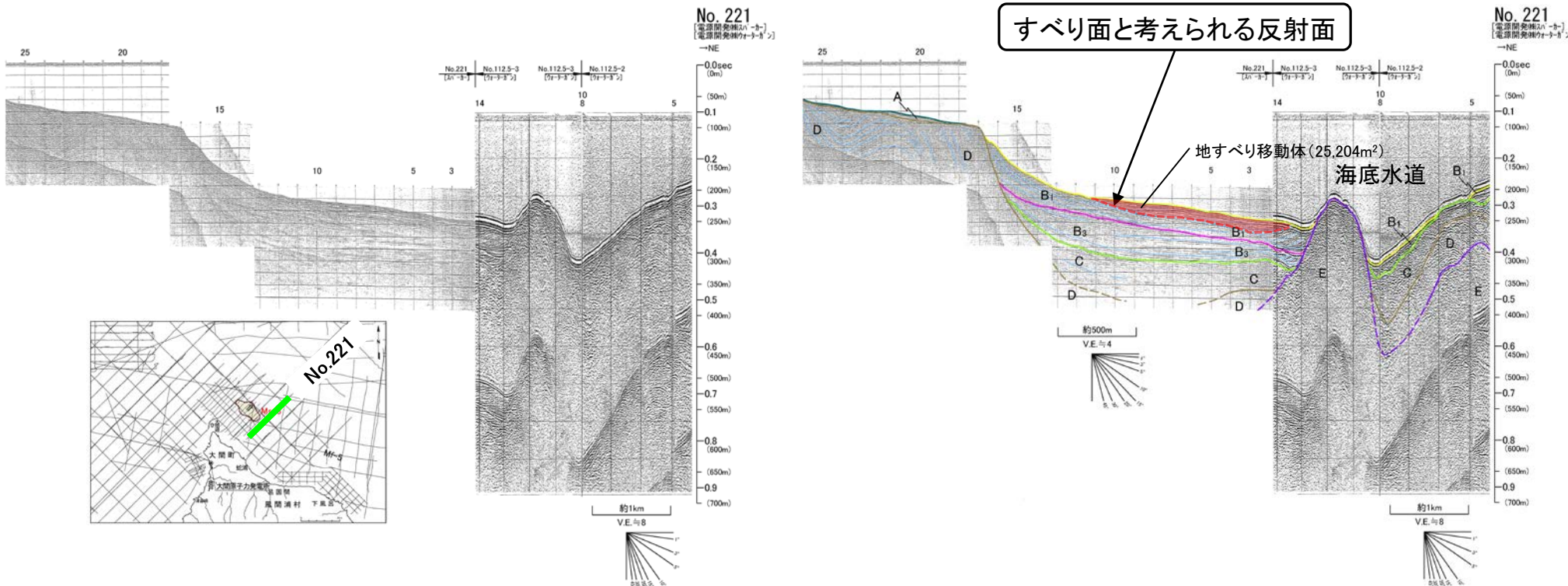
- 本記録範囲は、大陸棚沖合いの斜面上部～中部に位置し、斜面上部の比較的急な斜面の下端付近からB₁層中に延びる反射面が認められる。
- 本反射面の上位は、やや乱れた層理パターンまたは緩やかな凸状の層理パターンを示す。
- 本反射面の上位の地層は、本反射面をすべり面とした地すべり移動体と考えられる。

地質時代		敷地前面海域
第四紀	完新世	A層
	後期	B ₁ 層
		B ₂ 層
	中期	B ₃ 層
前期	C層	
新第三紀	鮮新世	D層
	中新世	E層
		先新第三紀



海底地すべり Ms-3

No.221測線(反射断面図・解釈断面図)



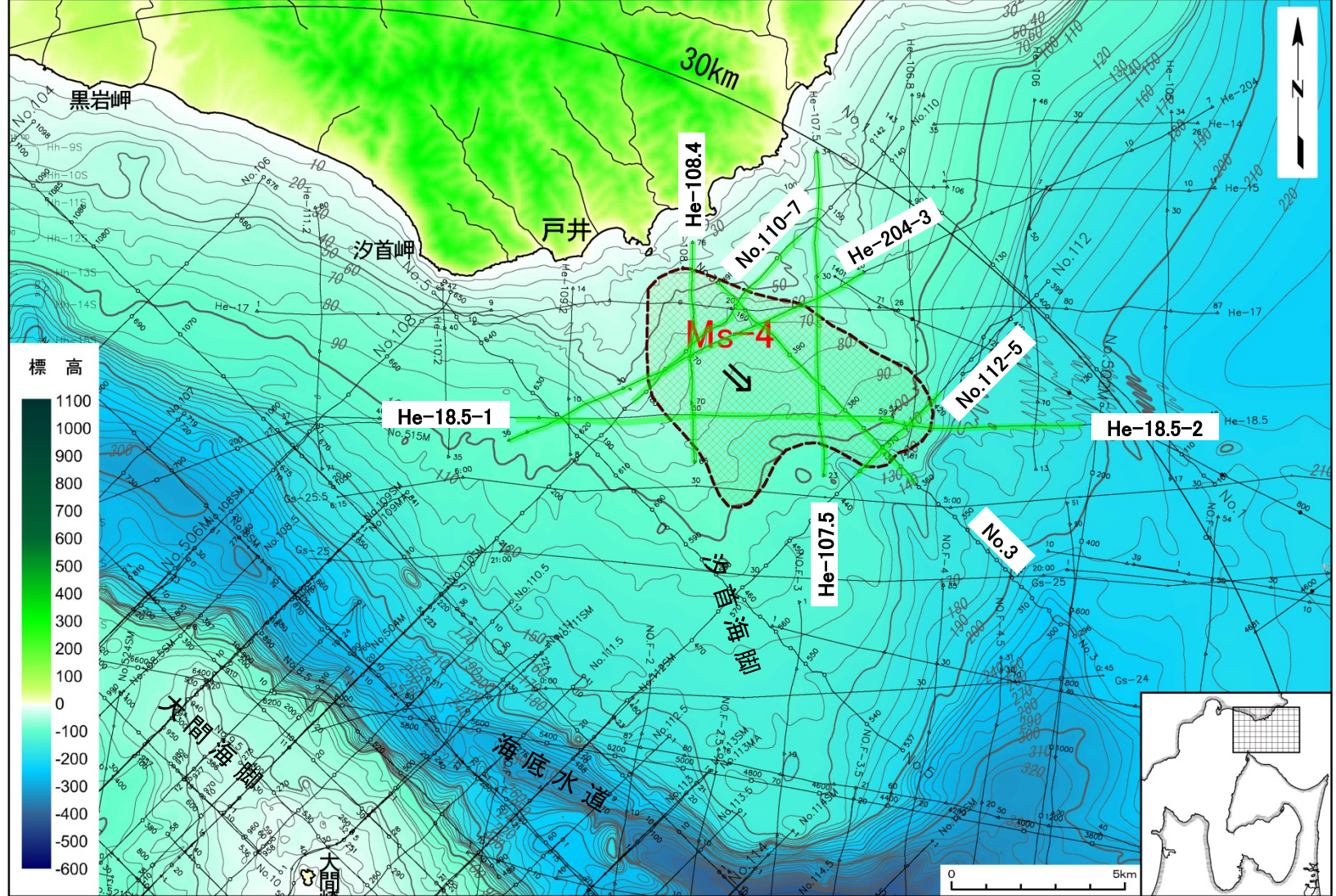
- 本記録範囲は、南西側から下北半島側大陸棚、大陸棚沖合いの斜面、海底水道及び北海道側大陸棚沖合いの斜面下部に位置する。
- 大陸棚沖合いの斜面中部付近の海底面は、緩やかな凸状を示し、最上位のB₁層はおおむね水平な層理パターンを示す。
- 本凸状構造は、小規模ではあるが隣接する測線の構造と類似していることから、地すべり移動体の末端部と考えられる。

地質時代		敷地前面海域	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層
		前期	B ₃ 層
新第三紀	鮮新世	C層	
		D層	
	中新世	E層	
先新第三紀			

(余白)



海底地すべり Ms-4

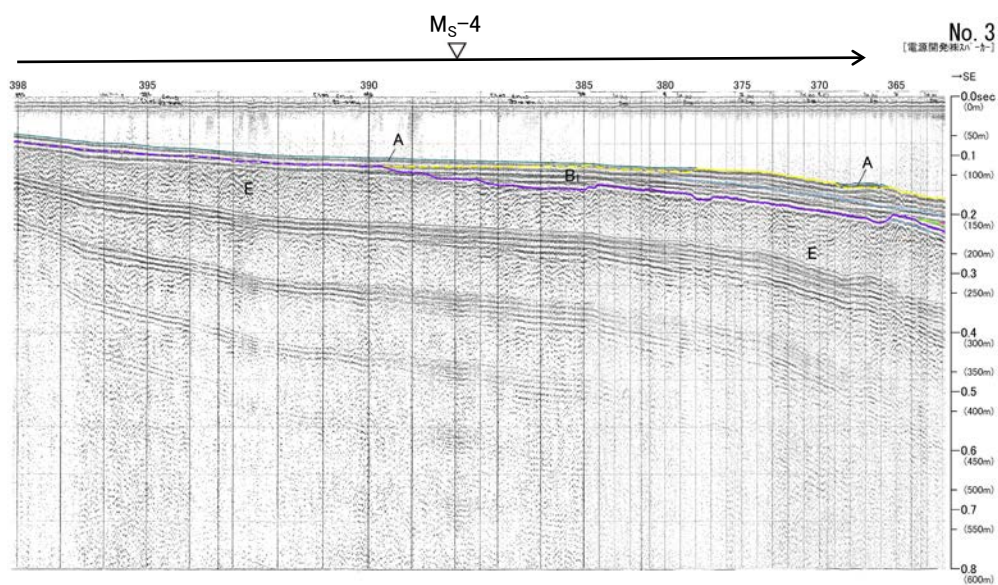
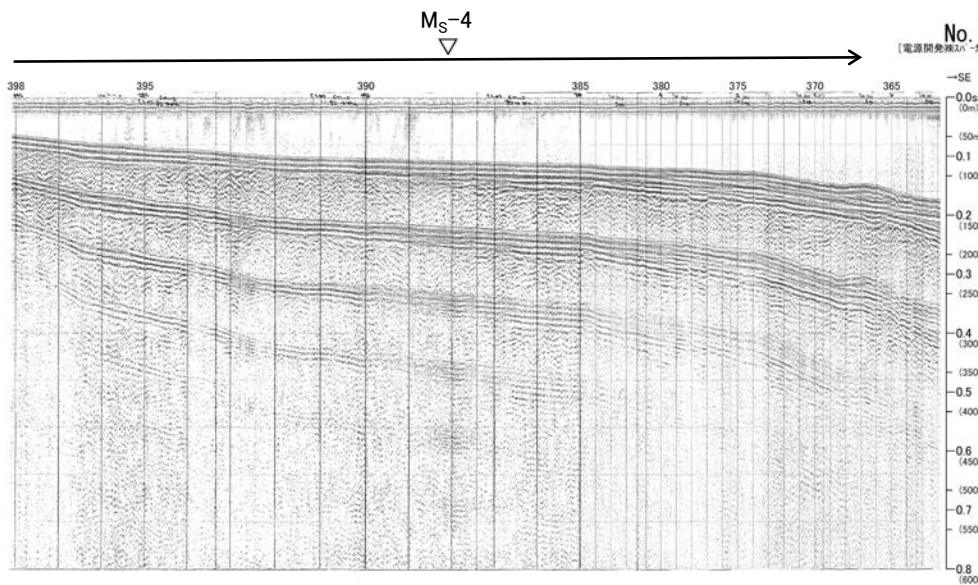


音波探査記録
の添付範囲





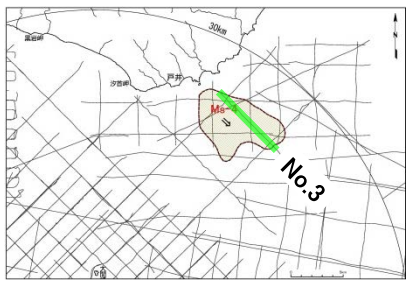
海底地すべり Ms-4 No.3測線(反射断面図・解釈断面図)



地形判読結果による当該地すべり範囲

- 当該範囲は、E層が海底下浅部に分布し、E層は緩やかな谷状に削剥されており、これを埋めるようにB₁層及びA層が堆積している。
- B₁層には、おおむね平行な層理パターンが認められる。
- 地すべりを示唆する堆積構造は認められない。

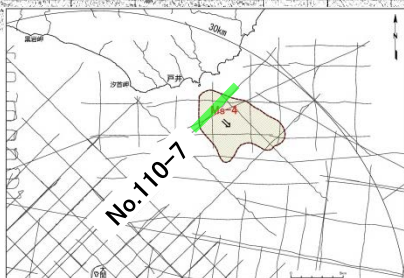
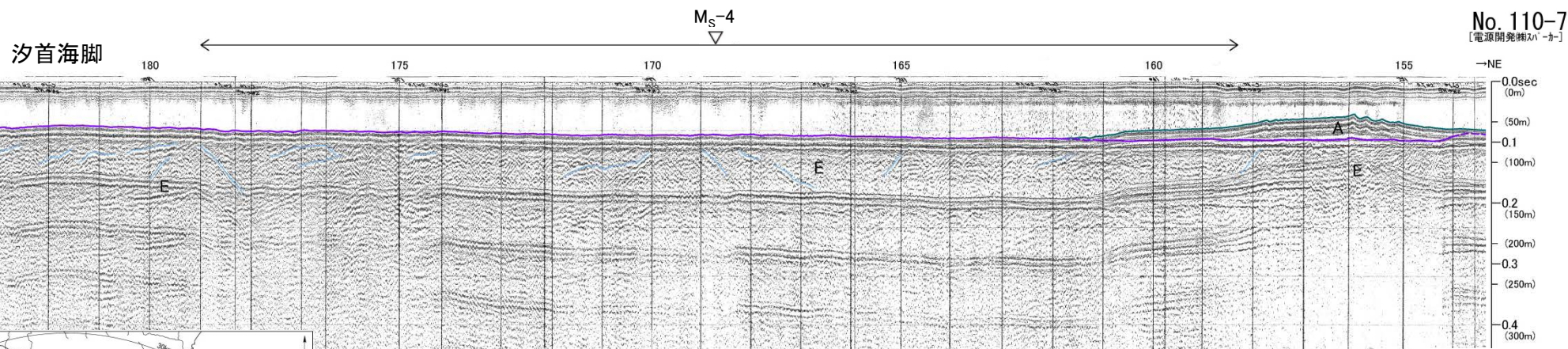
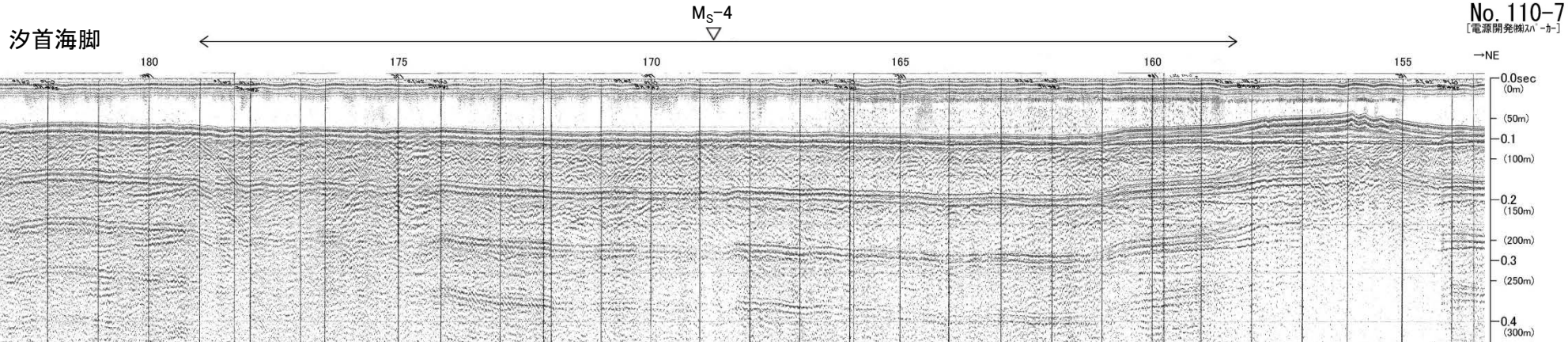
地質時代	敷地前面海域	
第四紀	完新世	A層
	更新世 後期	B ₁ 層
	更新世 中期	B ₂ 層
	更新世 前期	B ₃ 層
新第三紀	鮮新世	D層
	中新世	E層
先新第三紀		





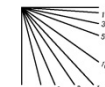
海底地すべり Ms-4

No.110-7測線(反射断面図・解釈断面図)



▽ 地形判読結果による当該地すべり範囲

約500m
V.E. ≒ 4



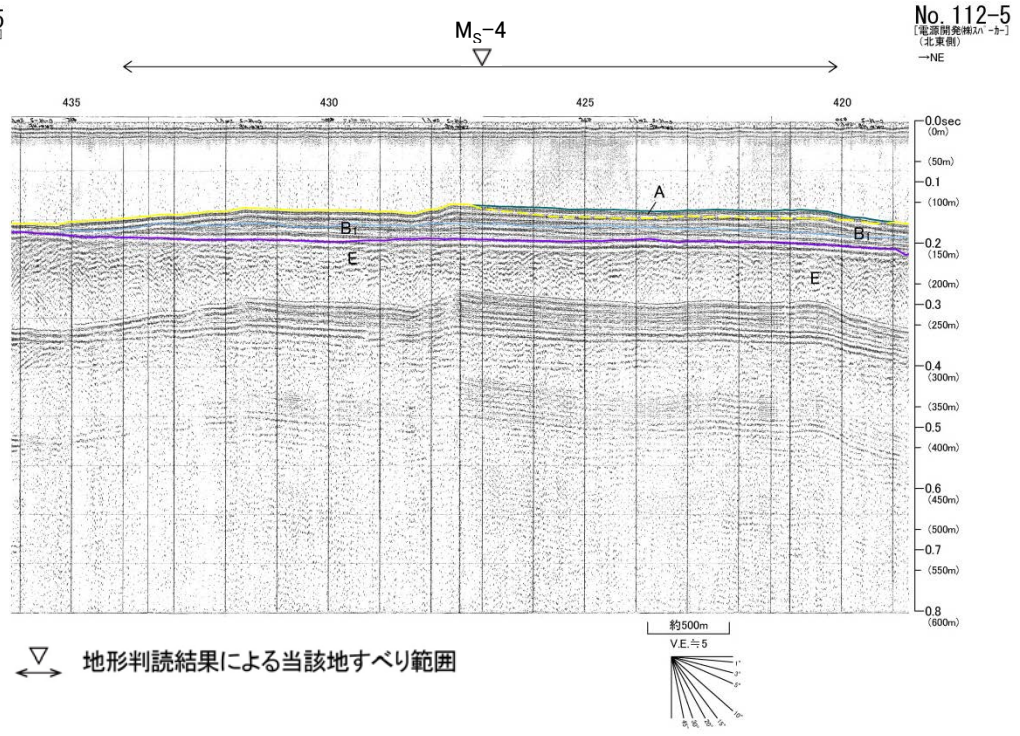
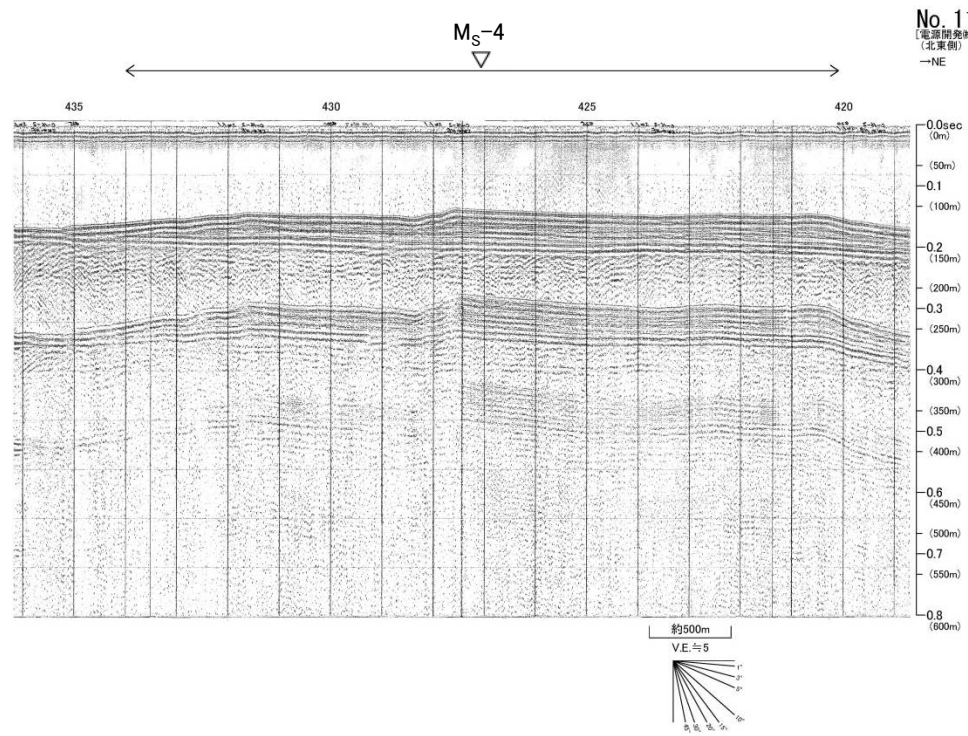
- 当該範囲は、E層が海底面に露出している。
- 地すべりを示唆する堆積構造は認められない。

地質時代		敷地前面海域
第四紀	完新世	A層
	後期	B ₁ 層
	中期	B ₂ 層
	前期	B ₃ 層
新第三紀	鮮新世	D層
	中新世	E層
先新第三紀		

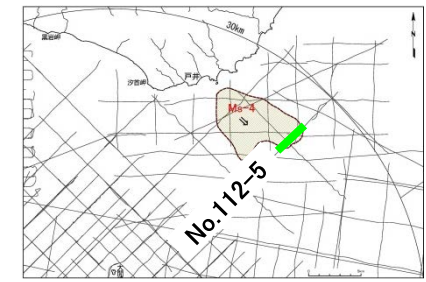


海底地すべり Ms-4

No.112-5測線(反射断面図・解釈断面図)



- 当該範囲は、E層が海底下浅部に分布する。
- E層上面は平坦で、これをB₁層及びA層がおおむね平行な層理パターンで覆っている。
- 地すべりを示唆する堆積構造は認められない。

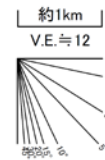
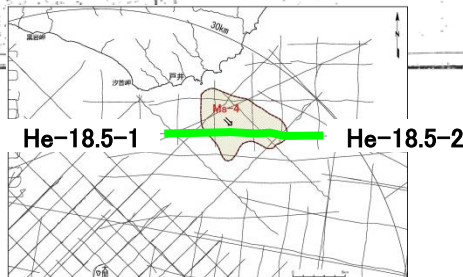
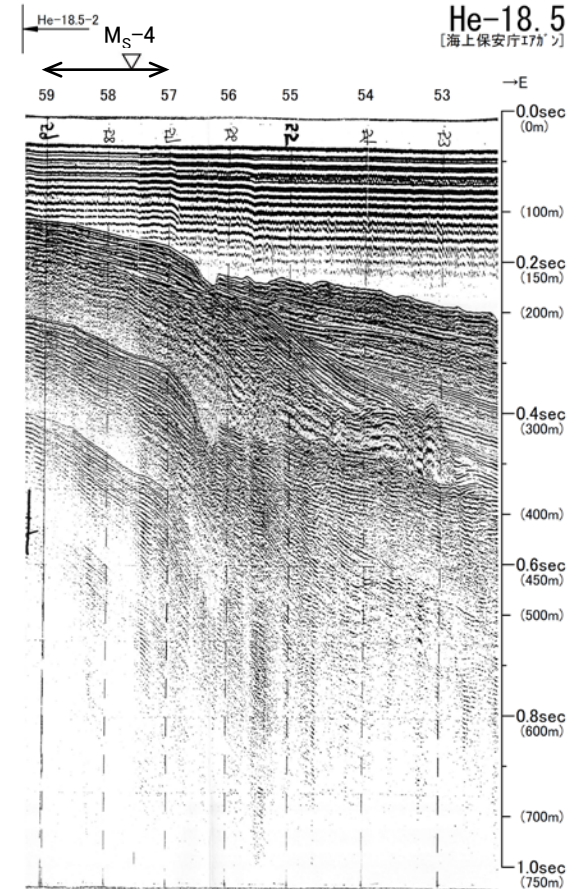
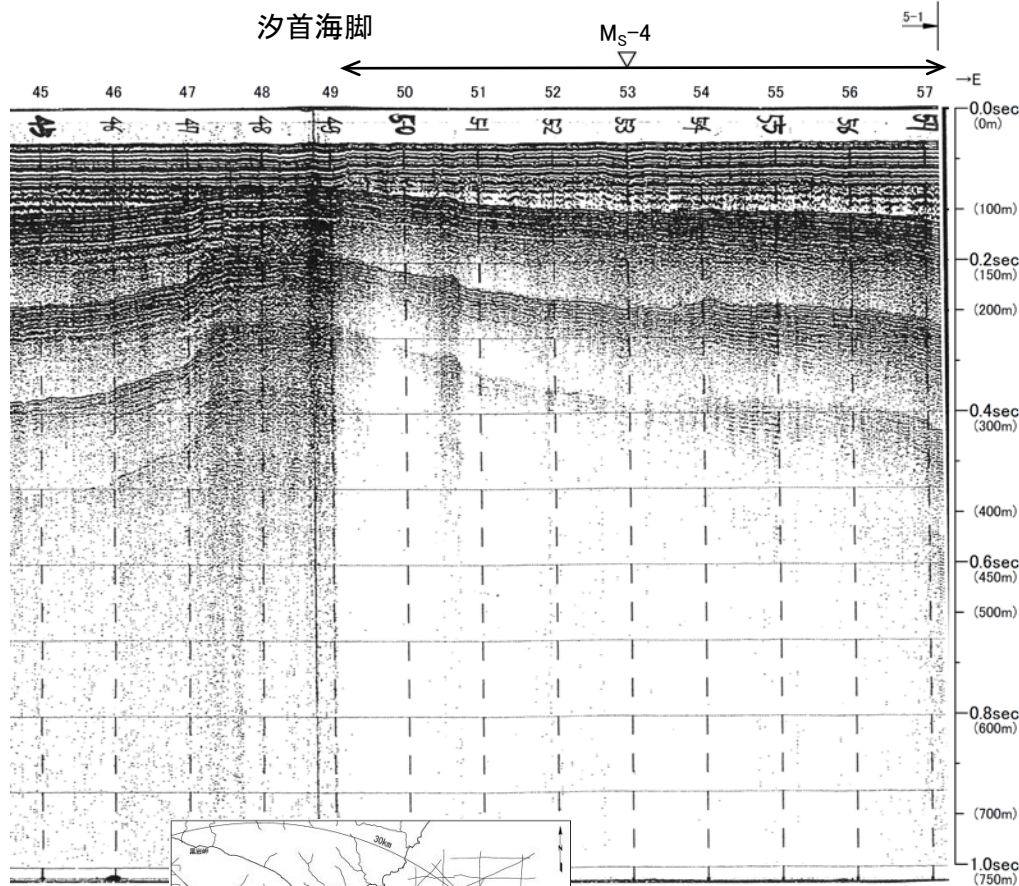


地質時代		敷地前面海域	
第四紀	完新世	A層	
	後期	B ₁ 層	
	中期	B ₂ 層	
	前期	B ₃ 層	
新第三紀	鮮新世	D層	
	中新世	E層	
先新第三紀			

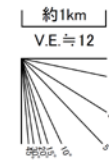


海底地すべり Ms-4

He-18.5-1,2測線(反射断面図)



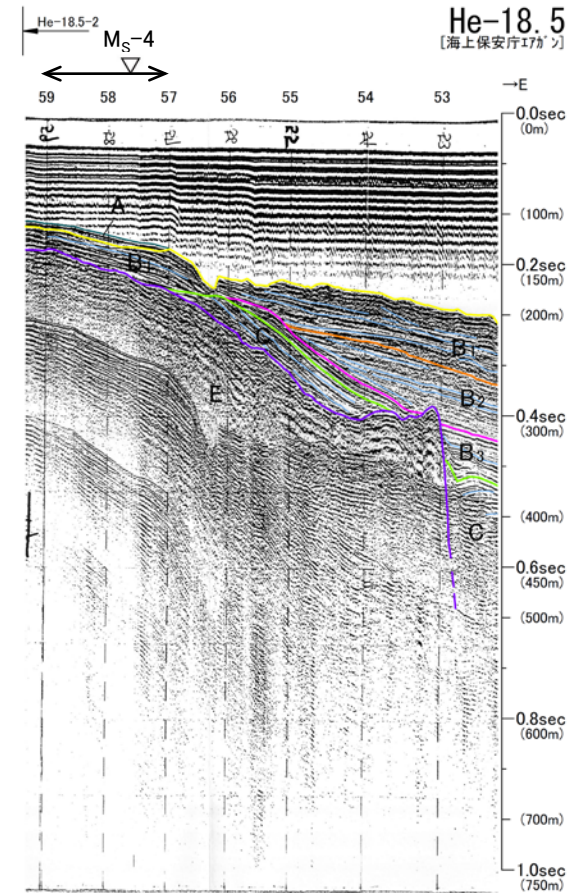
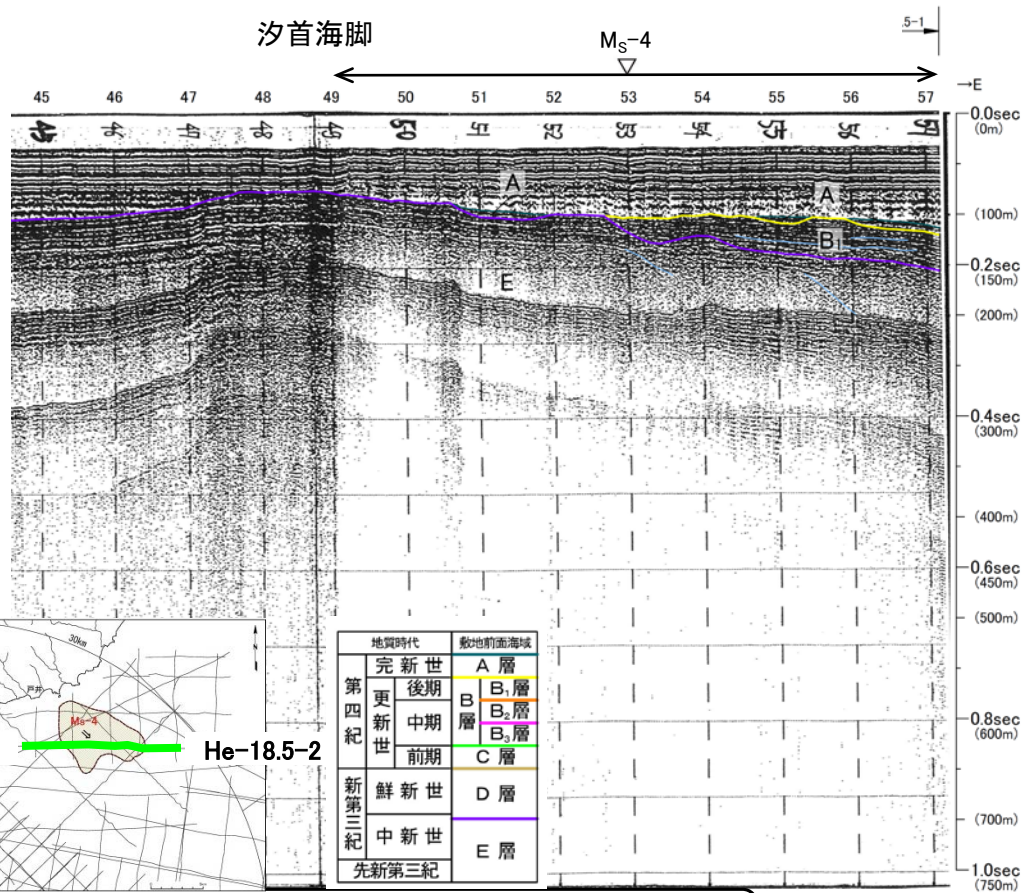
▽ 地形判読結果による当該地すべり範囲



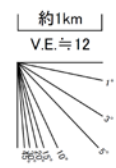


海底地すべり Ms-4

He-18.5-1,2測線(解釈断面図)



- 当該範囲は、E層が海底下浅部に分布し、E層は緩やかな谷状に削剥されており、これを埋めるようにB₁層及びA層が堆積している。
- B₁層には、おおむね海底面に平行な層理パターンが認められる。
- 地すべりによるものと考えられる堆積構造は認められない。



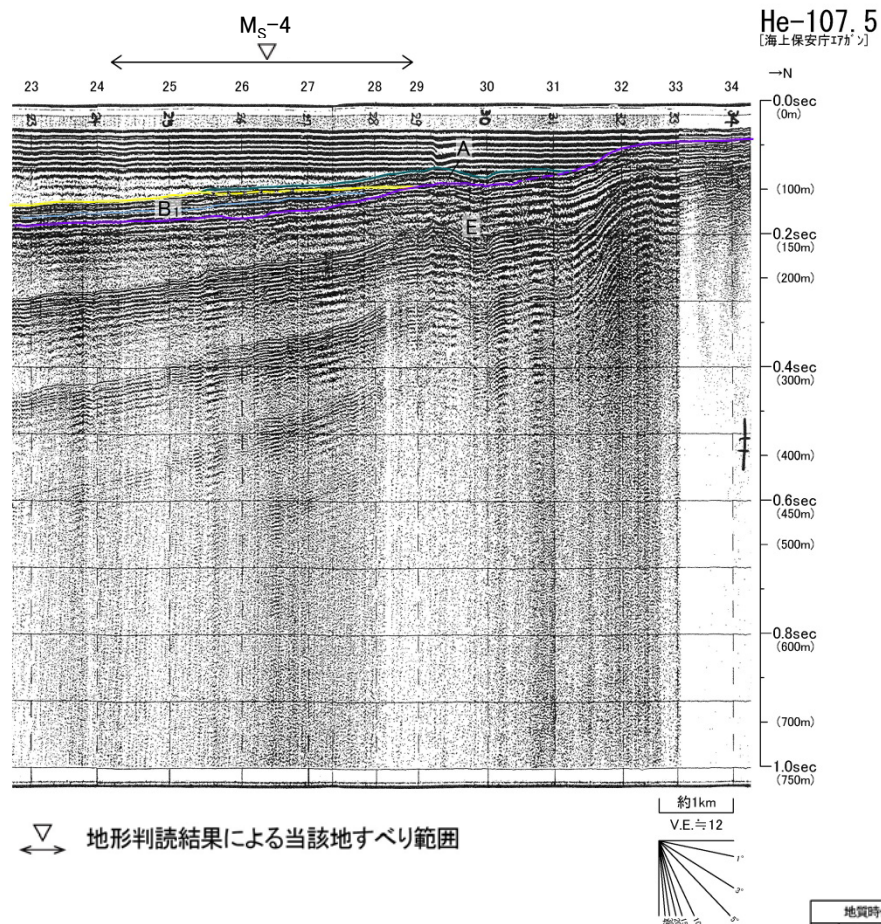
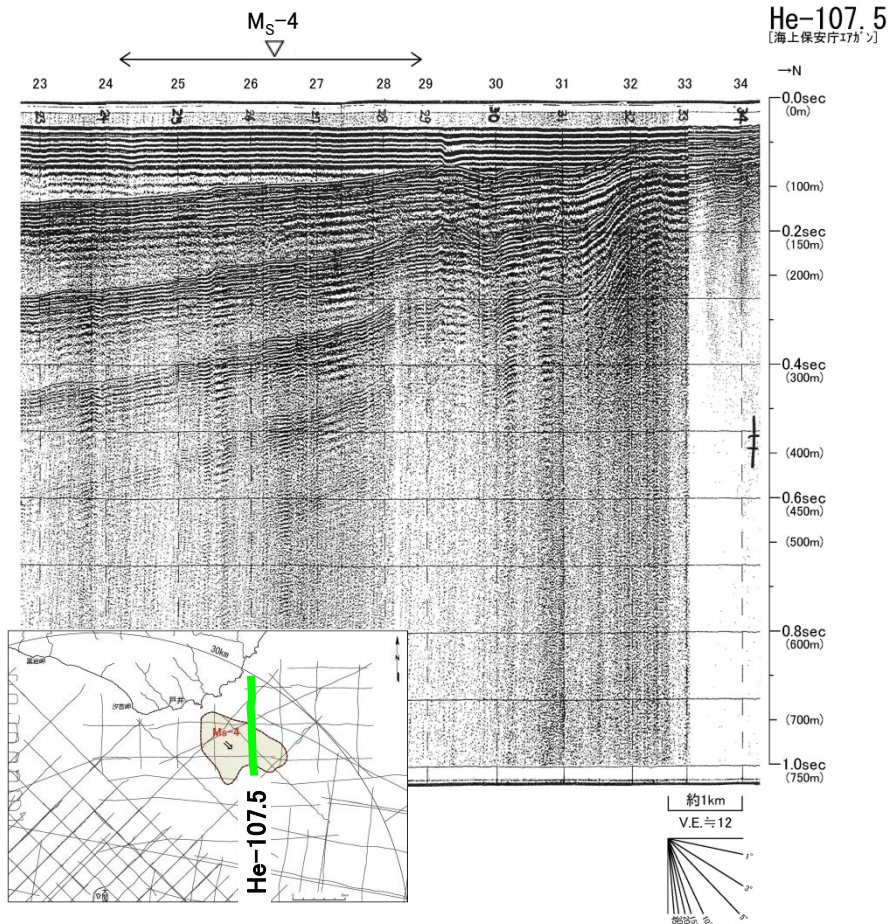
▽ 地形判読結果による当該地すべり範囲





海底地すべり Ms-4

He-107.5測線(反射断面図・解釈断面図)



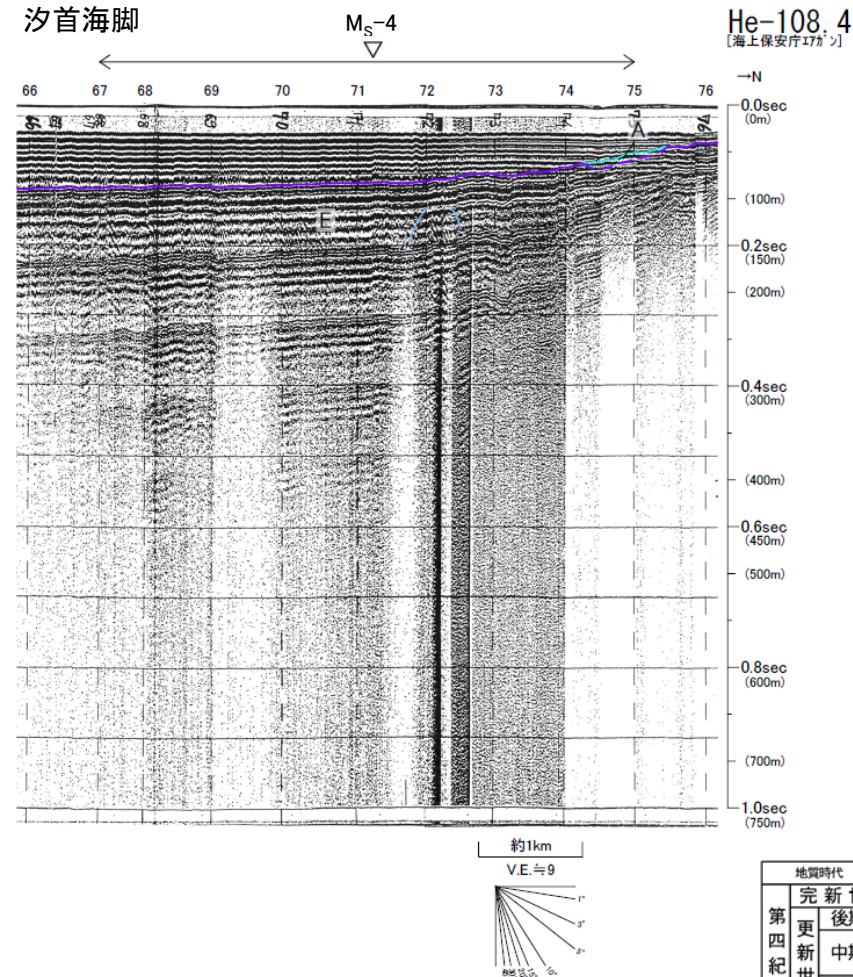
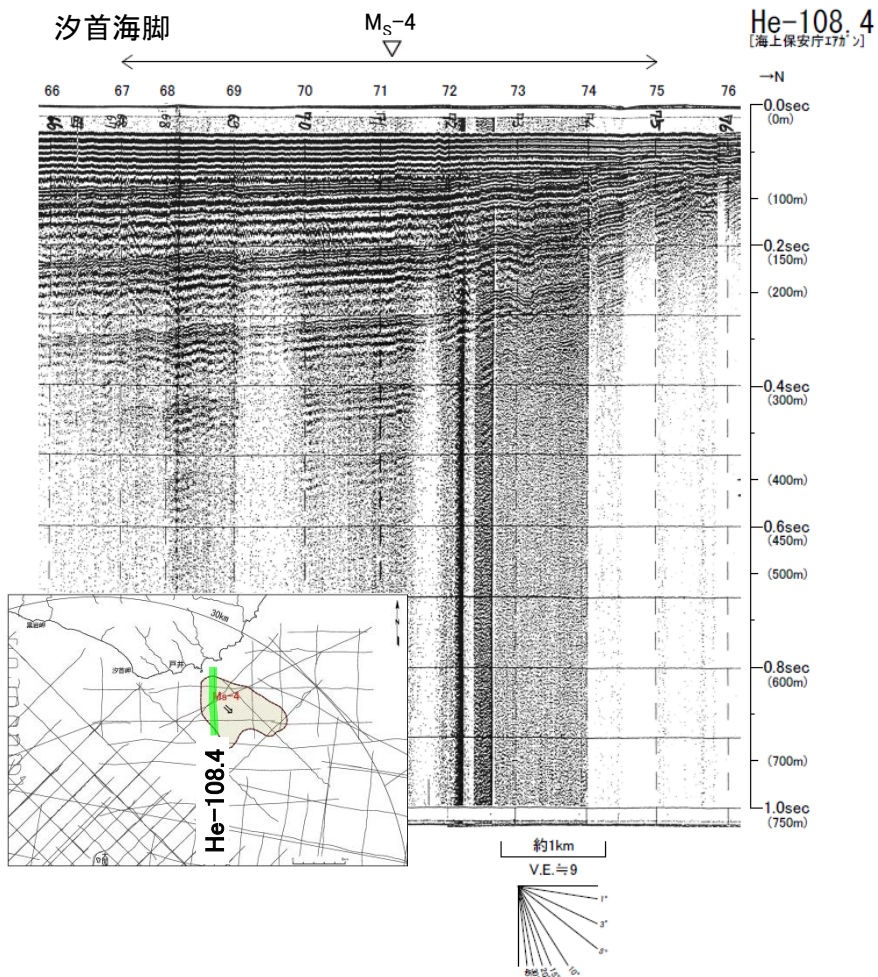
- 当該範囲は、E層が海底下浅部に分布し、上面は南側に緩やかに傾斜する平坦面で、これをB₁層及びA層が覆っている。
- B₁層には、平行な層理パターンが認められる。
- 地すべりを示唆する堆積構造は認められない。

地質時代		敷地前面海域	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層
			B ₃ 層
前期	C層		
新第三紀	鮮新世	D層	
	中新世	E層	
	先新第三紀		



海底地すべり Ms-4

He-108.4測線(反射断面図・解釈断面図)



- 当該範囲は、広くE層が海底面に露出している。
- E層上面はおおむね平坦である。
- 地すべりを示唆する堆積構造は認められない。

▽ 地形判読結果による当該地すべり範囲

地質時代		敷地前蓋海域
第四紀	完新世	A層
	後期	B ₁ 層
	中期	B ₂ 層
	前期	B ₃ 層
新第三紀	鮮新世	C層
	中新世	D層
先新第三紀		E層



海底地すべり Ms-4

He-204-3測線(反射断面図・解釈断面図)

汐首海脚

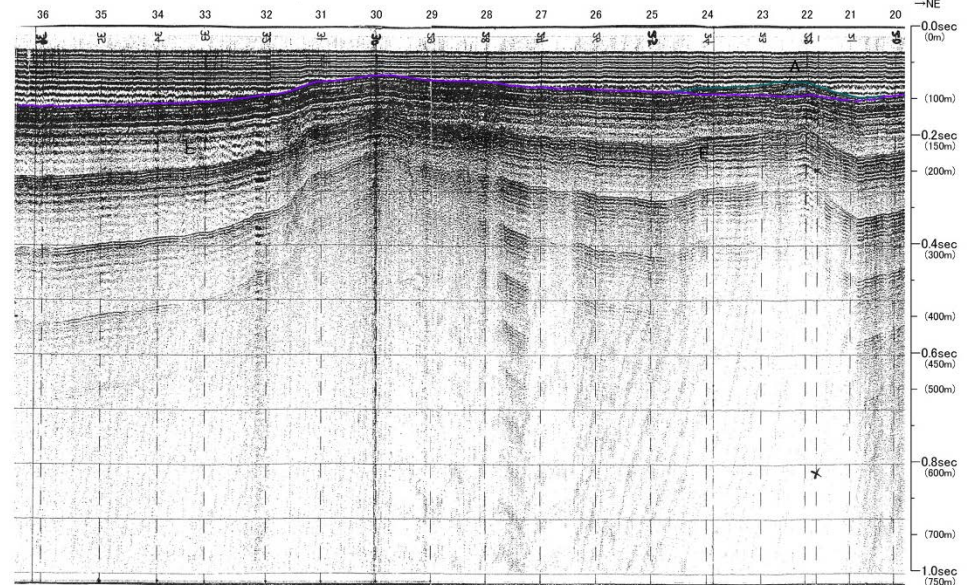
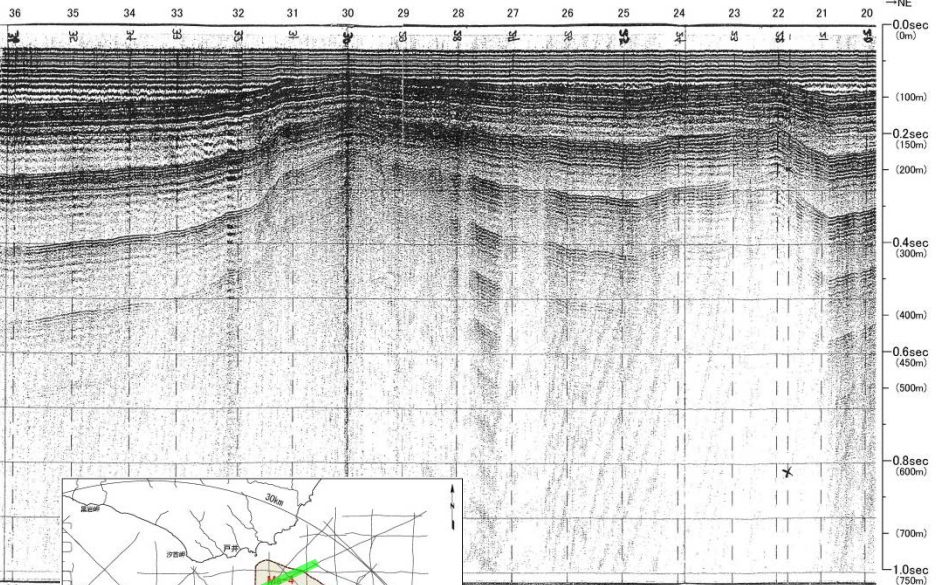
Ms-4

He-204-3
[海上保安庁77カ]

汐首海脚

Ms-4

He-204-3
[海上保安庁77カ]



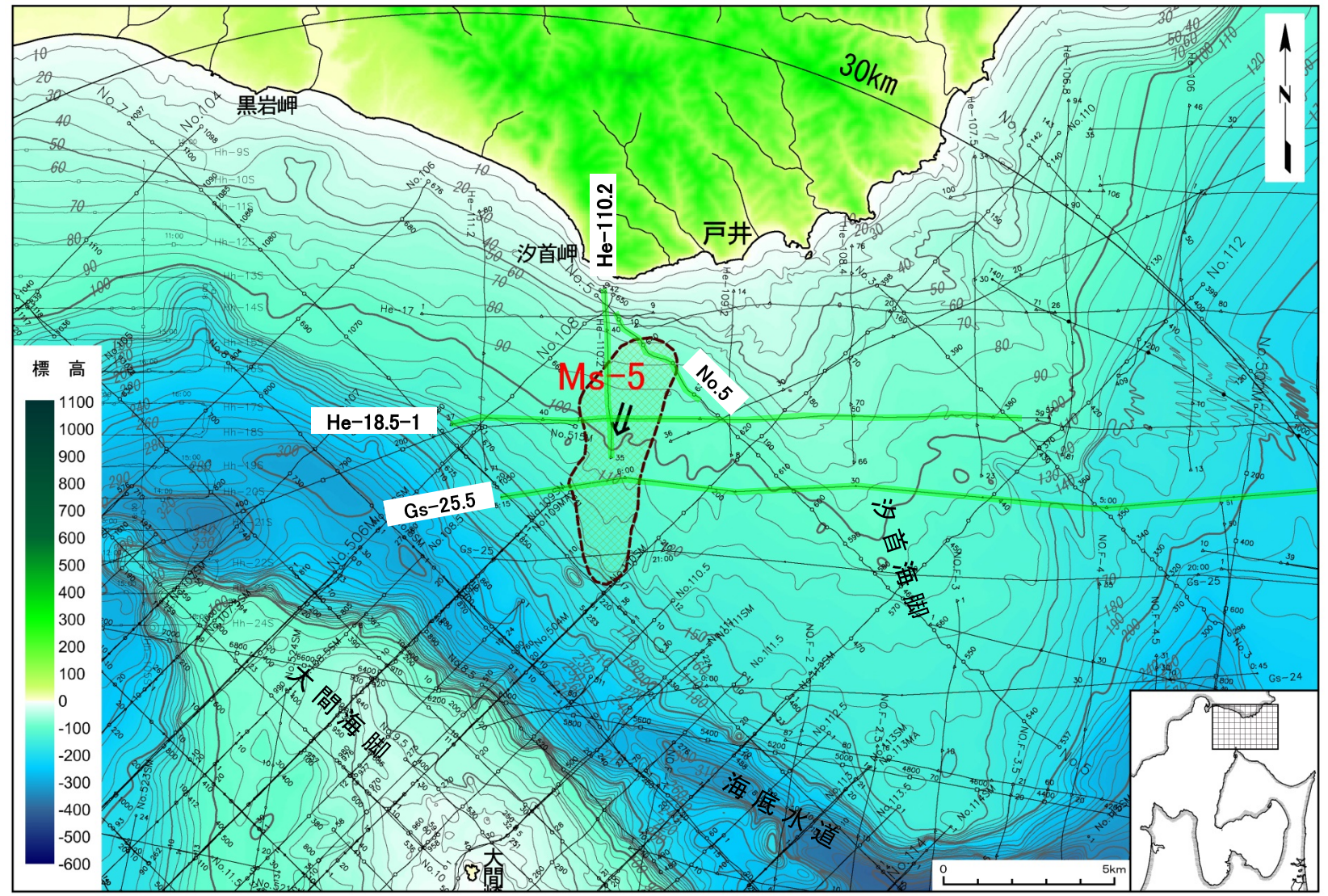
地形判読結果による当該地すべり範囲

- 当該範囲は、E層が広く海底面に露出しており、E層上面はおおむね平坦である。
- 地すべりを示唆する堆積構造は認められない。

地質時代		敷地前面海域	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層
		前期	C層
新第三紀	鮮新世	D層	
先新第三紀	中新世	E層	



海底地すべり Ms-5

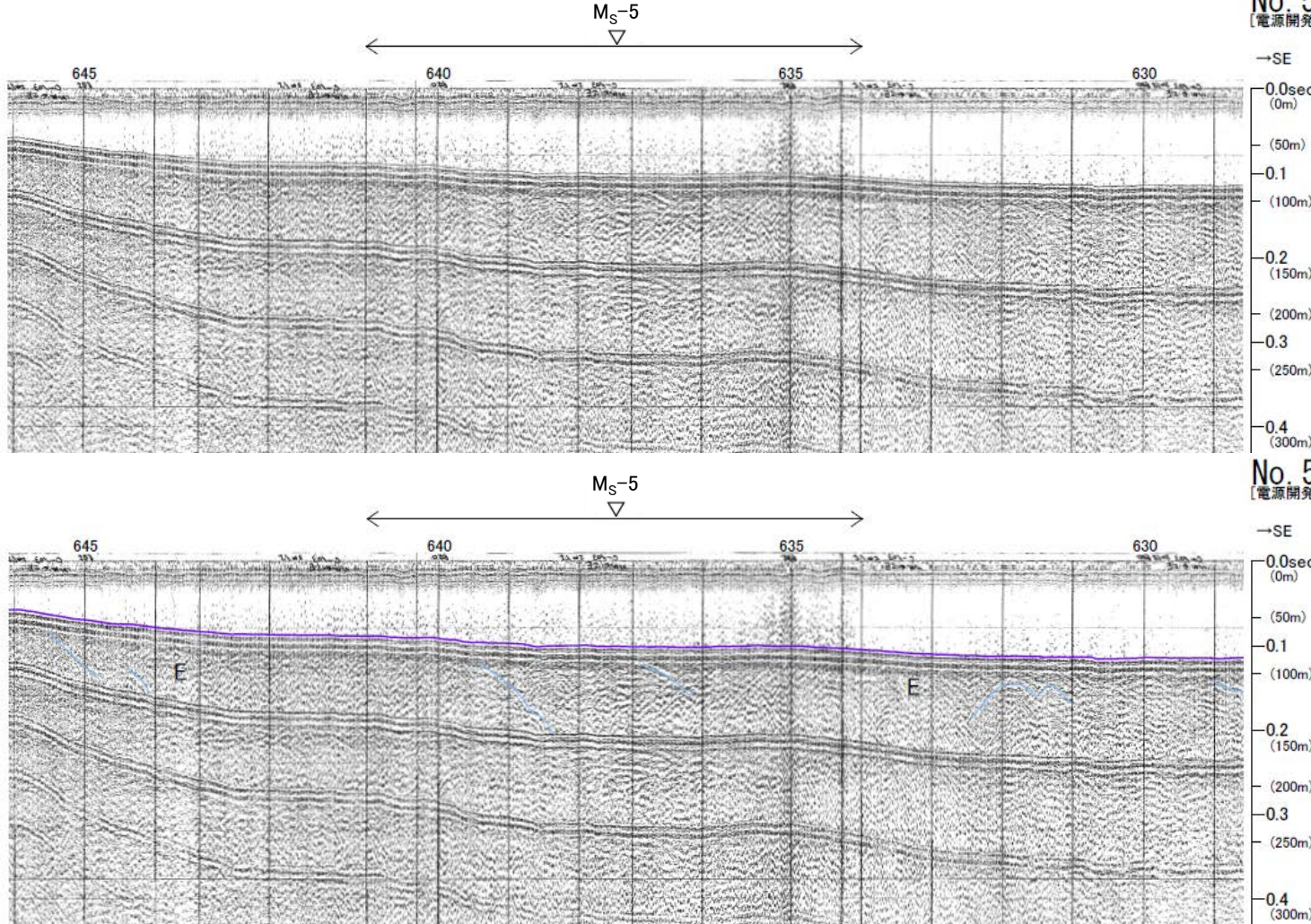


音波探査記録
の添付範囲

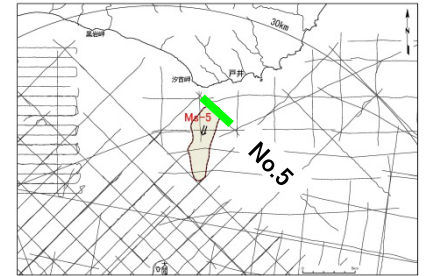
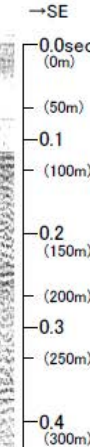


海底地すべり Ms-5

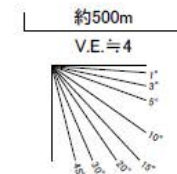
No.5測線(反射断面図・解釈断面図)



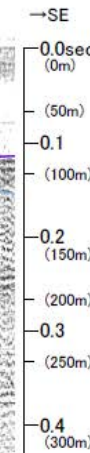
No. 5
[電源開発株式会社-カ]



地質時代		軟地前高海域	
第四紀	完新世	A層	
	後期	B ₁ 層	
	中期	B ₂ 層	
更新世	前期	B ₃ 層	
		C層	
新第三紀	鮮新世	D層	
	中新世	E層	
先新第三紀			



No. 5
[電源開発株式会社-カ]



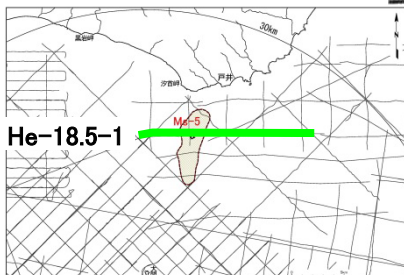
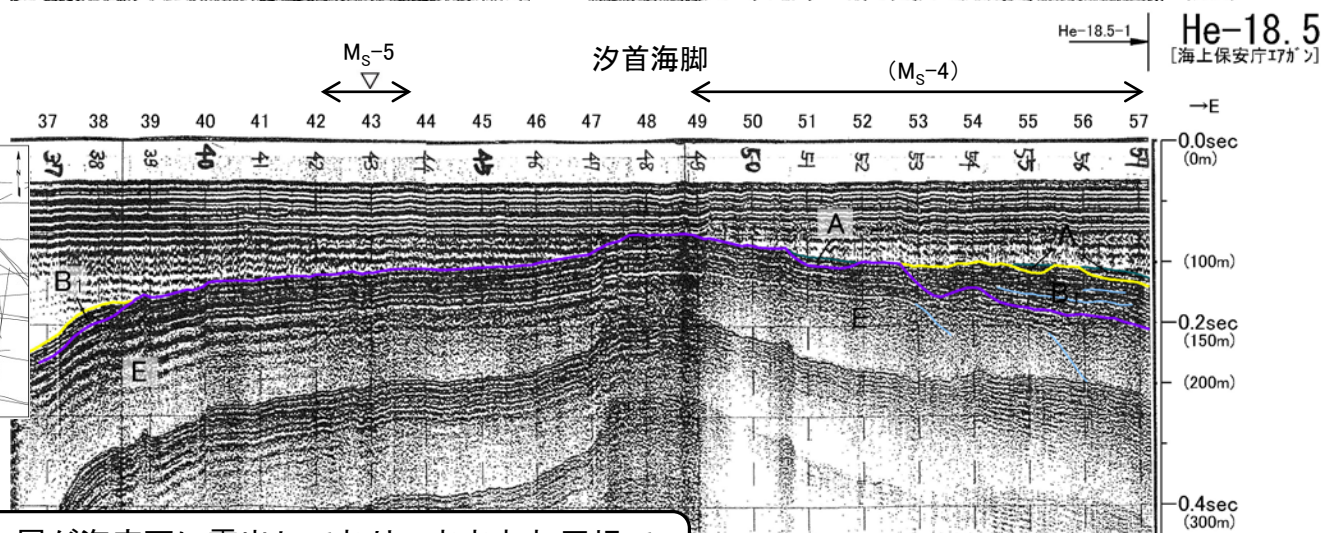
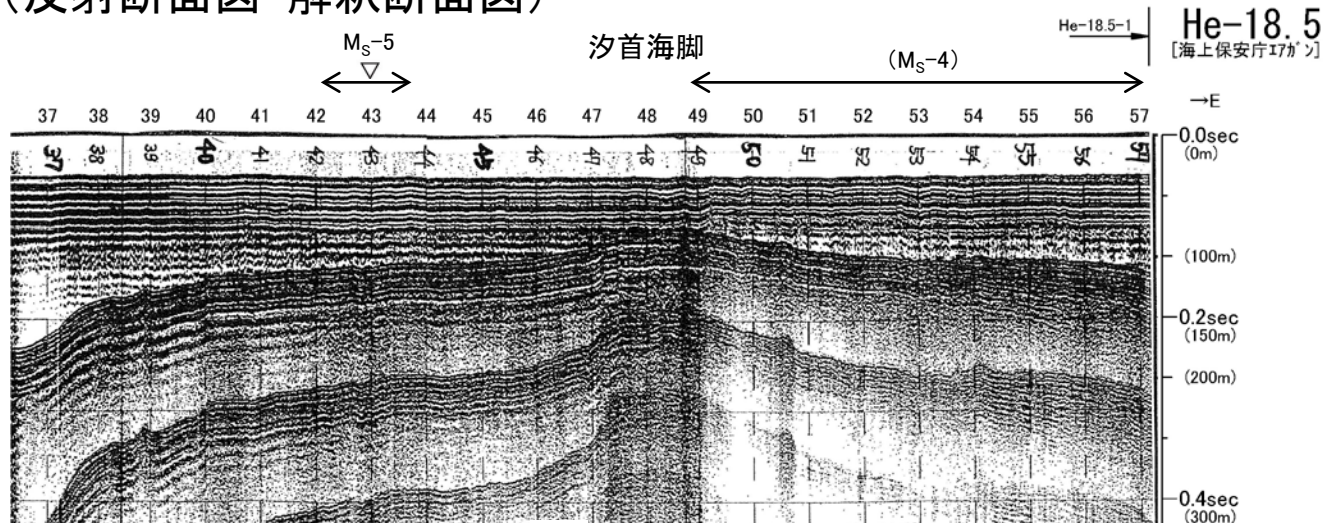
- 当該範囲は、E層が海底面に露出し、おおむね平坦である。
- 地すべりを示唆する堆積構造は認められない。

▽ 地形判読結果による当該地すべり範囲



海底地すべり Ms-5

He-18.5-1測線(反射断面図・解釈断面図)



地質時代		敷地前面海域	
第四紀	完新世	A層	A層
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層
	前期	B ₃ 層	
第三紀	鮮新世	D層	
	中新世	E層	
先新第三紀			

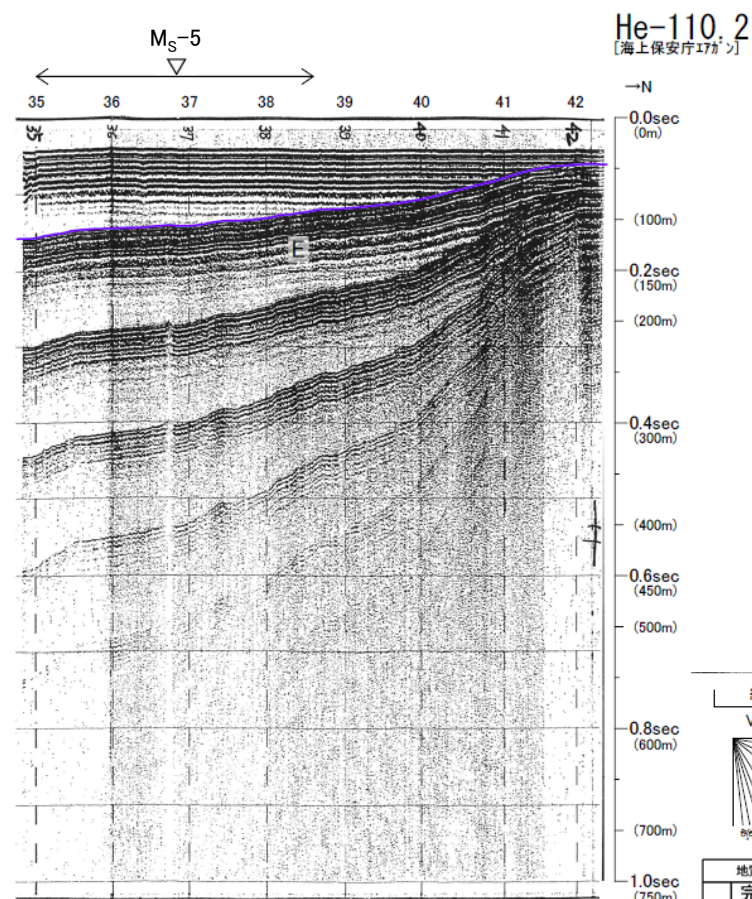
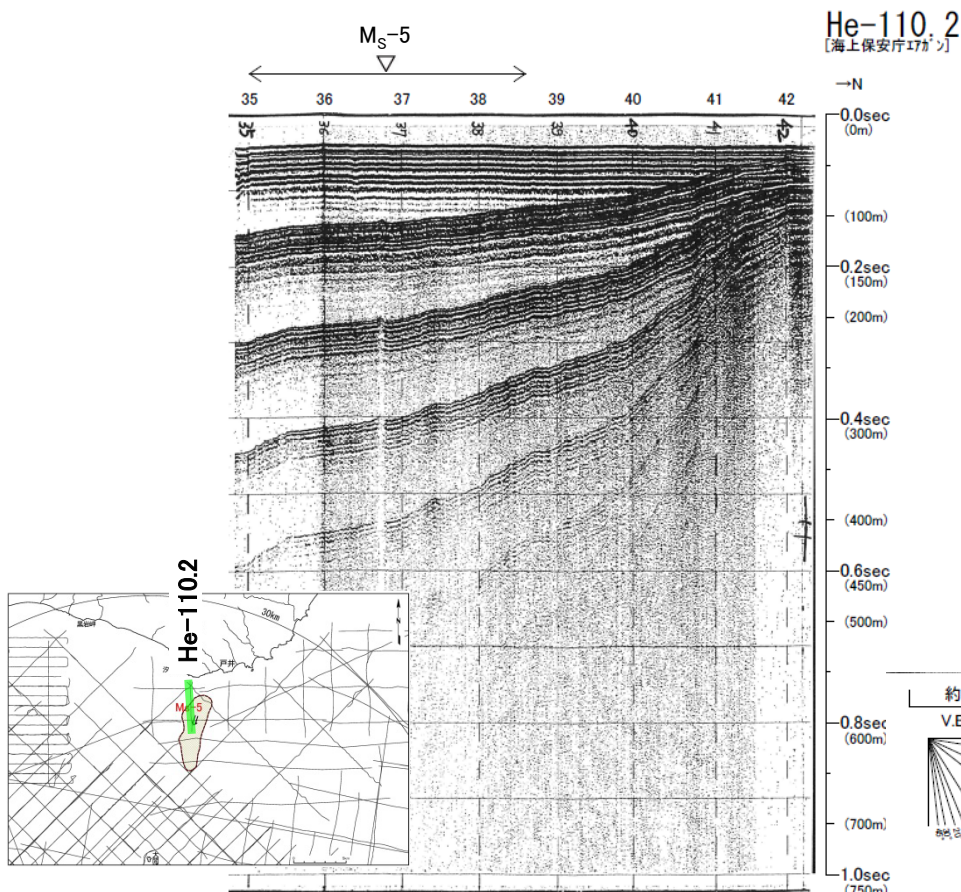
- 当該範囲は、E層が海底面に露出しており、おおむね平坦である。
- 地すべりを示唆する堆積構造は認められない。

▽ 地形判読結果による当該地すべり範囲



海底地すべり Ms-5

He-110.2測線(反射断面図・解釈断面図)



▽ 地形判読結果による当該地すべり範囲

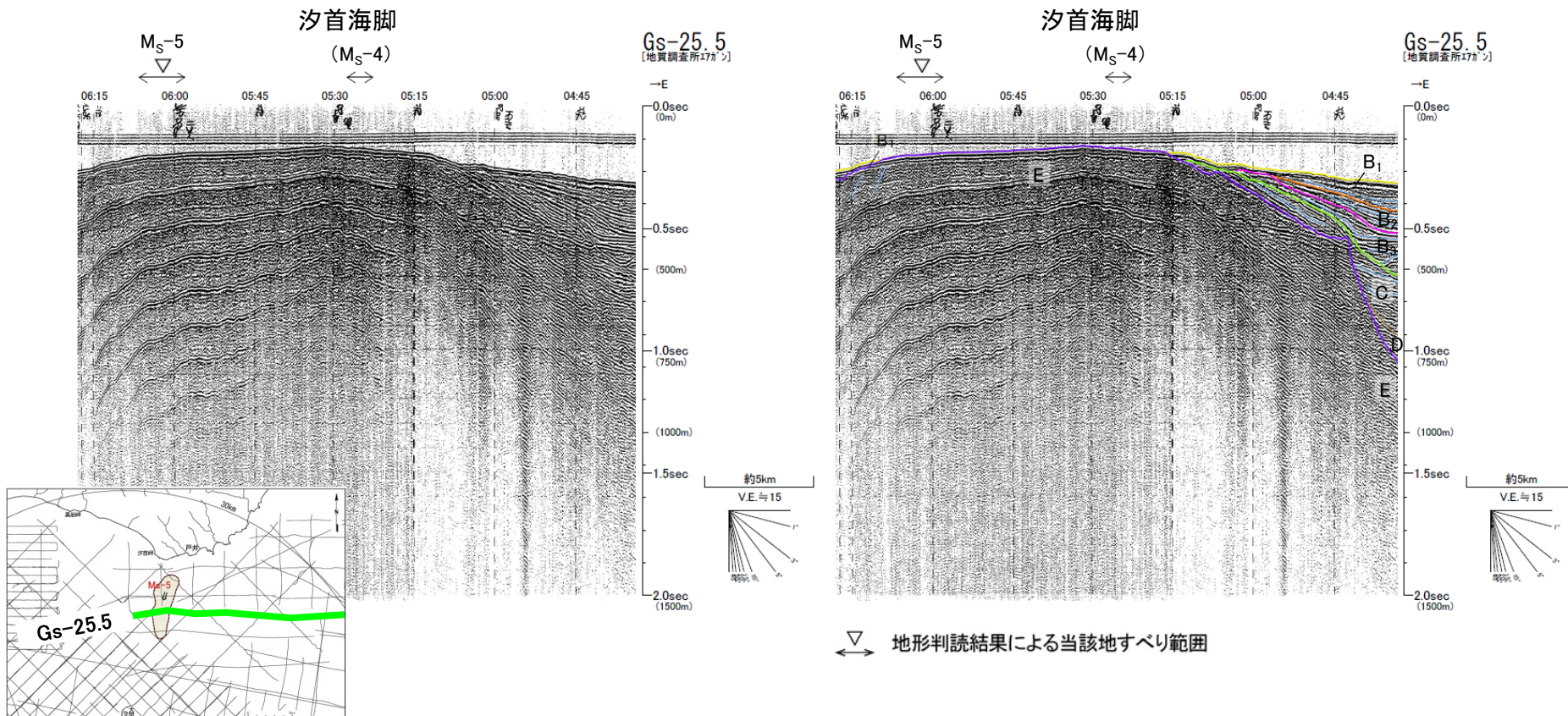
- 当該範囲は、E層が海底面に露出しており、おおむね平坦である。
- 地すべりを示唆する堆積構造は認められない。

地質時代		敷地前面海域	
第四紀	完新世	A層	
	後期	B ₁ 層	
	中期	B ₂ 層	
	前期	B ₃ 層	
新第三紀	鮮新世	D層	
	中新世	E層	
先新第三紀			



海底地すべり Ms-5

Gs-25.5測線(反射断面図・解釈断面図)



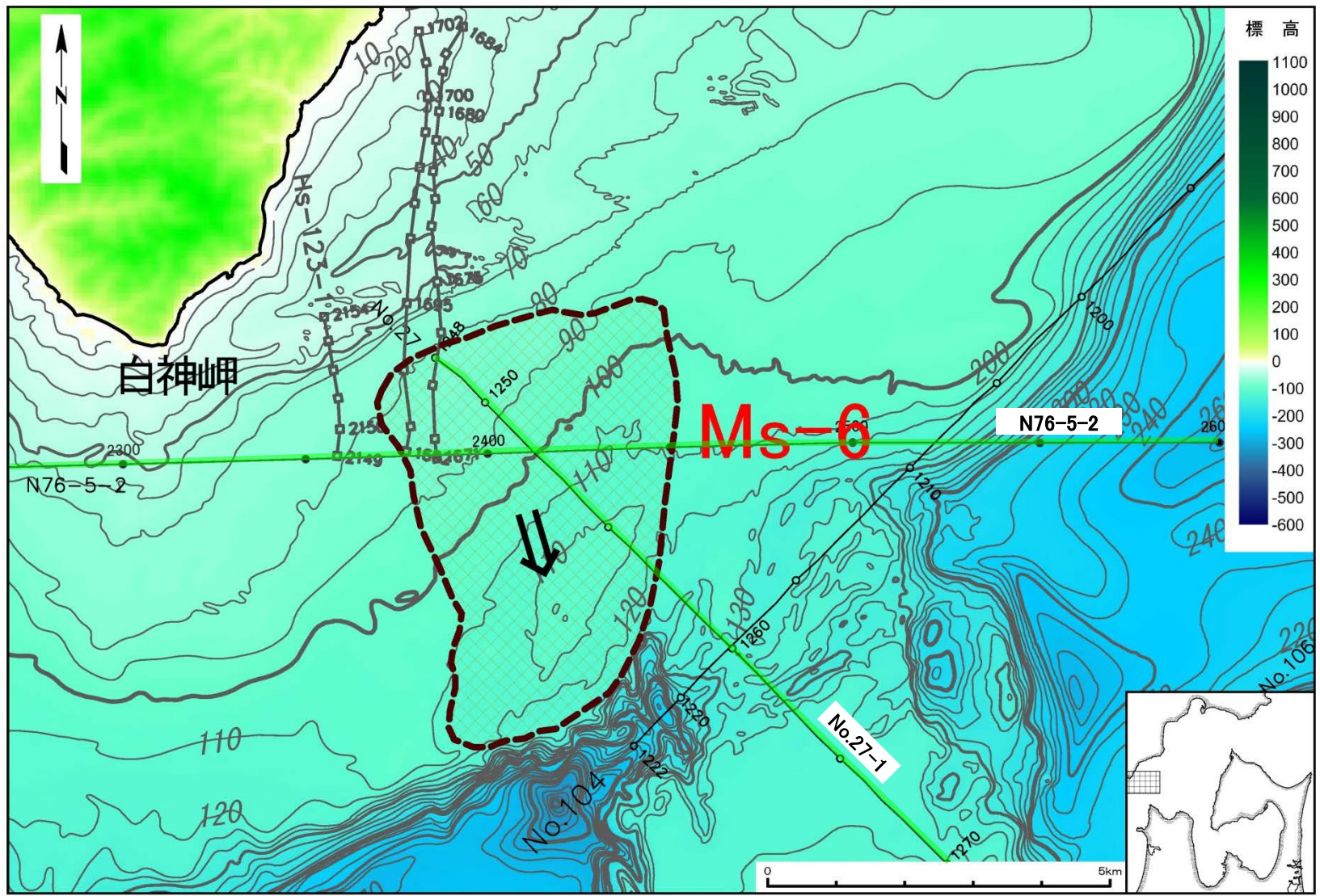
- 当該範囲は、E層が海底面に露出している。
- 海底面は緩やかに西側に傾斜するが、おおむね平坦である。
- 地すべりによるものと考えられる堆積構造は認められない。

地質時代		敷地前面海域	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B ₂ 層
		前期	B ₃ 層
第三紀	鮮新世	C層	
	中新世	D層	
先第三紀		E層	

(余白)



海底地すべり Ms-6



音波探査記録
の添付範囲



海底地すべり Ms-6

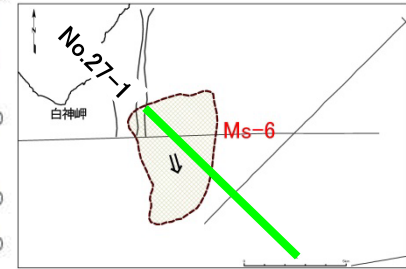
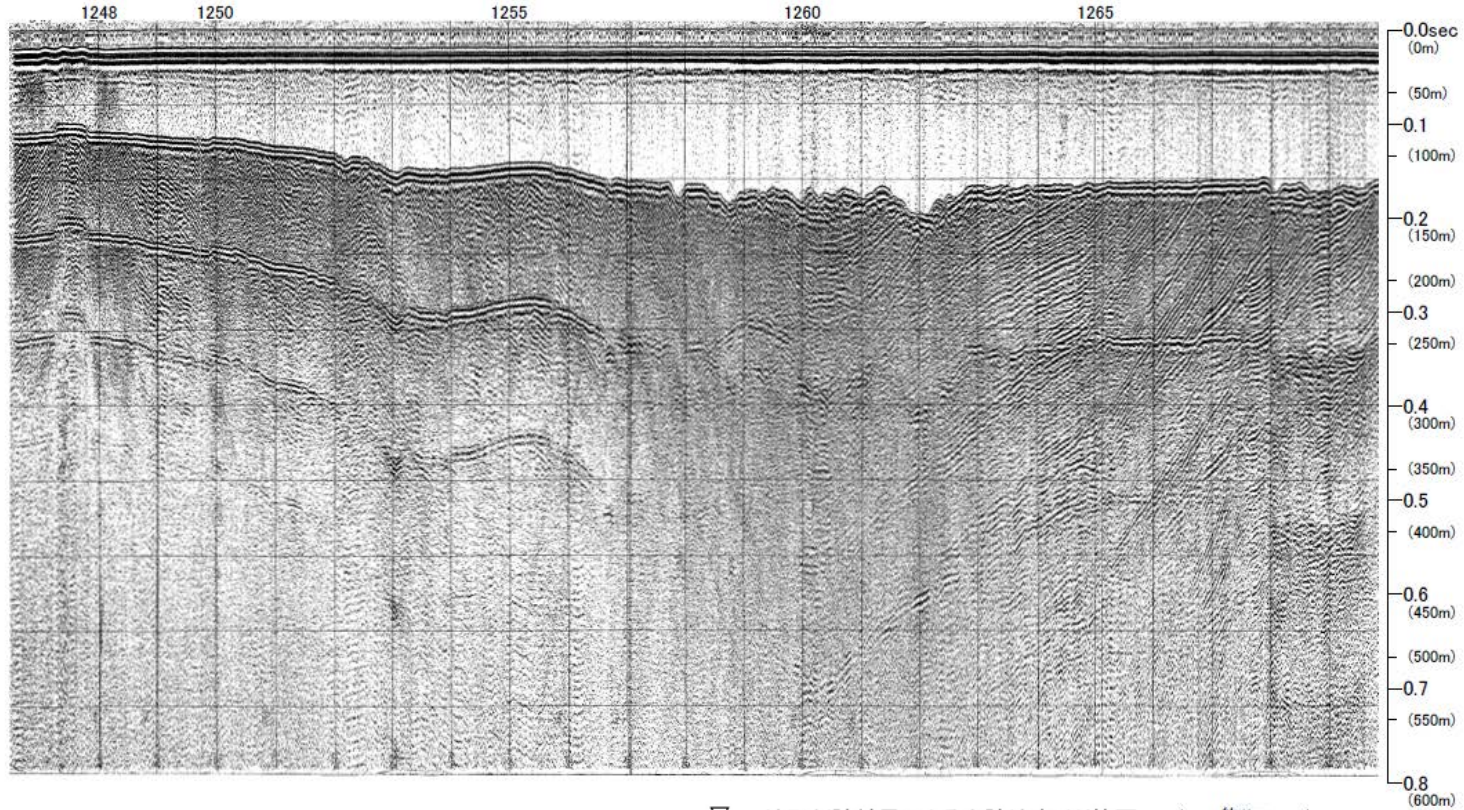
No.27-1測線(反射断面図)

Ms-6

No. 27-1

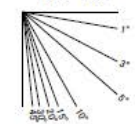
[電源開発株式会社]

→SE



▽ 地形判読結果による当該地すべり範囲

約1km
V.E. ≒ 10



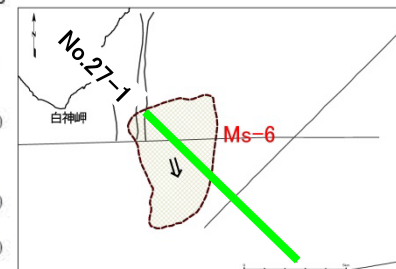
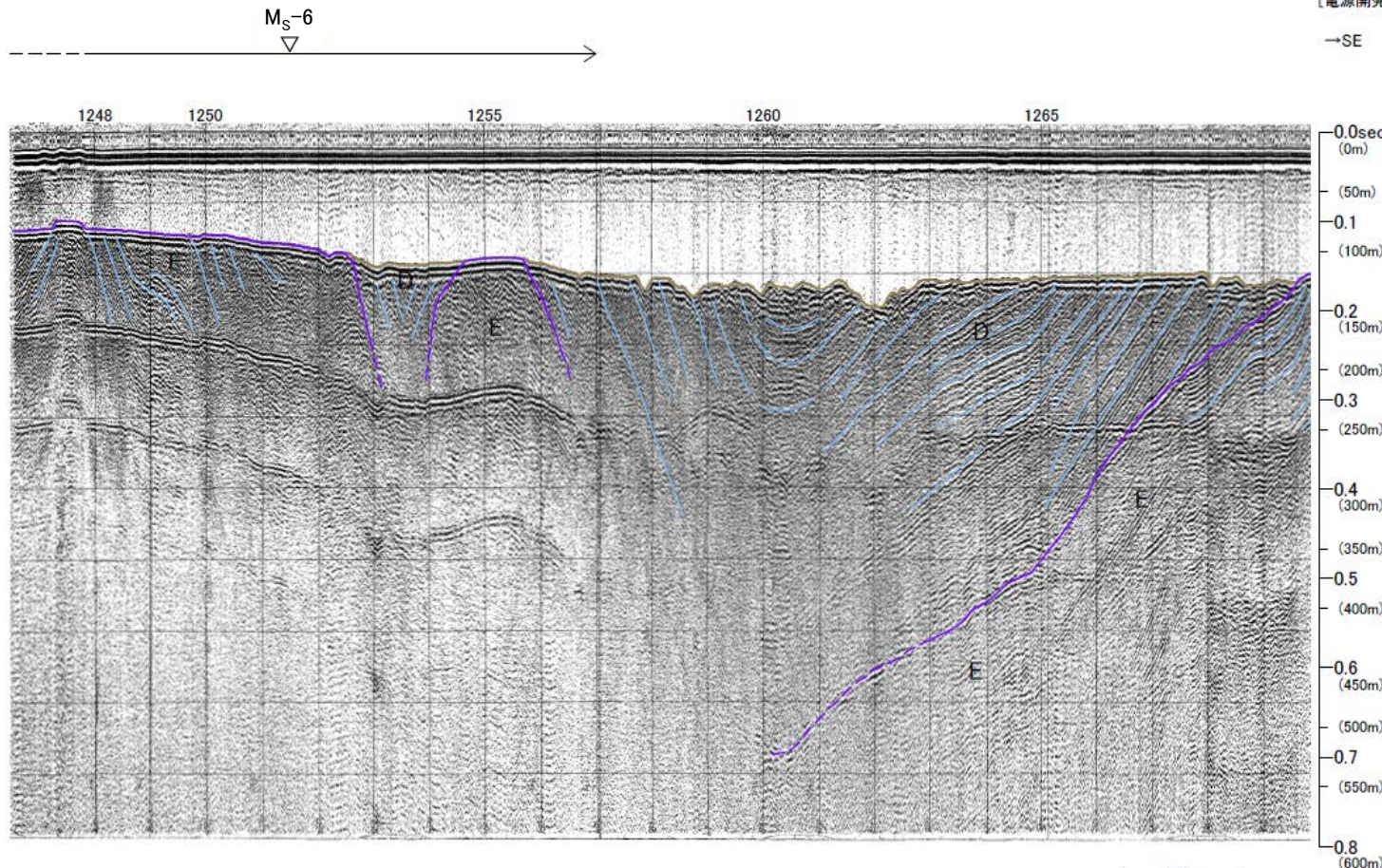


海底地すべり Ms-6

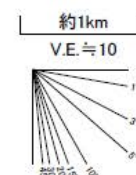
No.27-1測線(解釈断面図)

No. 27-1
【電源開発株式会社】

→SE



地質時代		敷地前面海域	
第四紀	完新世	A層	
	更新世	後期	B ₁ 層
		中期	B層
		前期	B ₂ 層
新第三紀	鮮新世	C層	
		D層	
	中新世	E層	
先新第三紀			



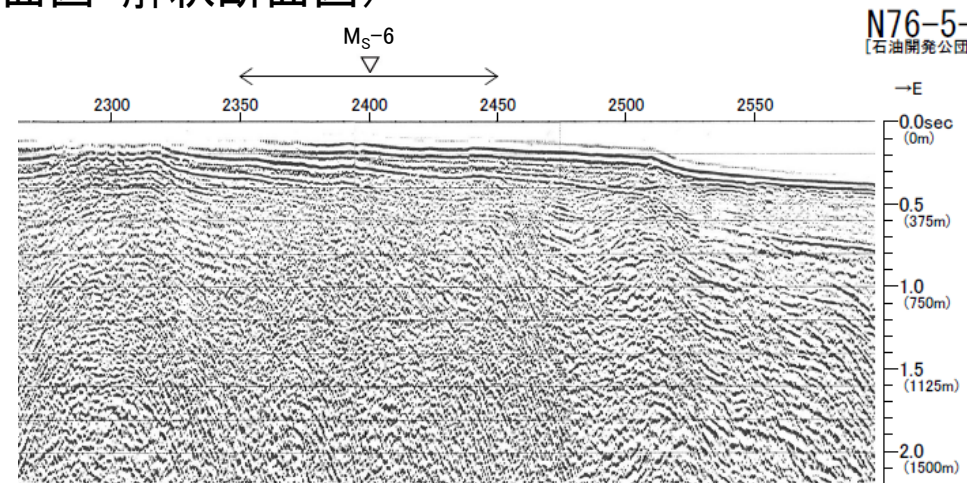
▽ 地形判読結果による当該地すべり範囲

- 当該範囲は、E層が広く海底面に露出している。
- 地すべりを示唆する堆積構造は認められない。

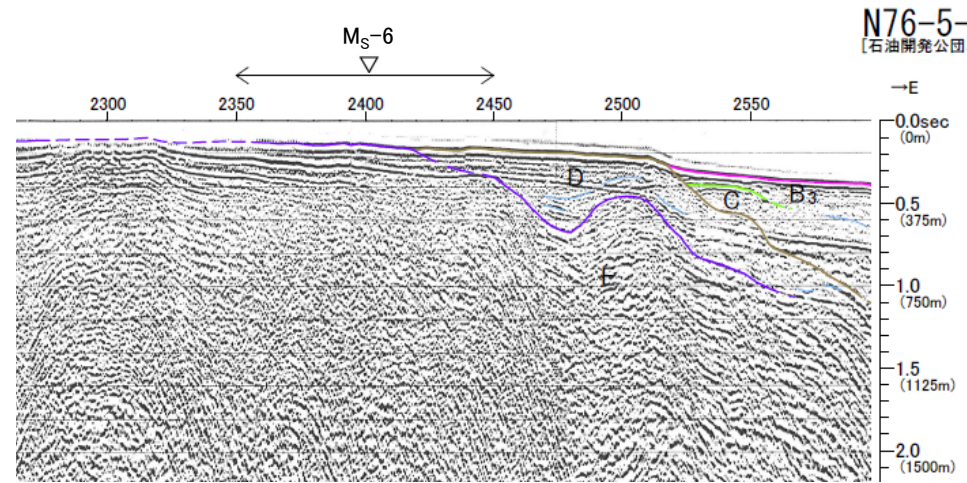
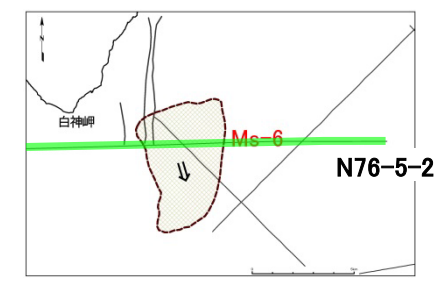


海底地すべり Ms-6

N76-5-2測線(反射断面図・解釈断面図)

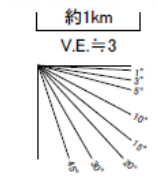


N76-5-2
[石油開発公団エアガン]



N76-5-2
[石油開発公団エアガン]

地質時代		敷地前面海域
第四紀	完新世	A層
	後期	B ₁ 層
	中期	B ₂ 層
	前期	B ₃ 層
新第三紀	鮮新世	D層
	中新世	E層
先新第三紀		



▽↔ 地形判読結果による当該地すべり範囲

- 当該範囲は、E層及びD層が広く海底面に露出している。
- 地すべりを示唆する堆積構造は認められない。